

# 令和4年第4回（9月）上越市議会定例会

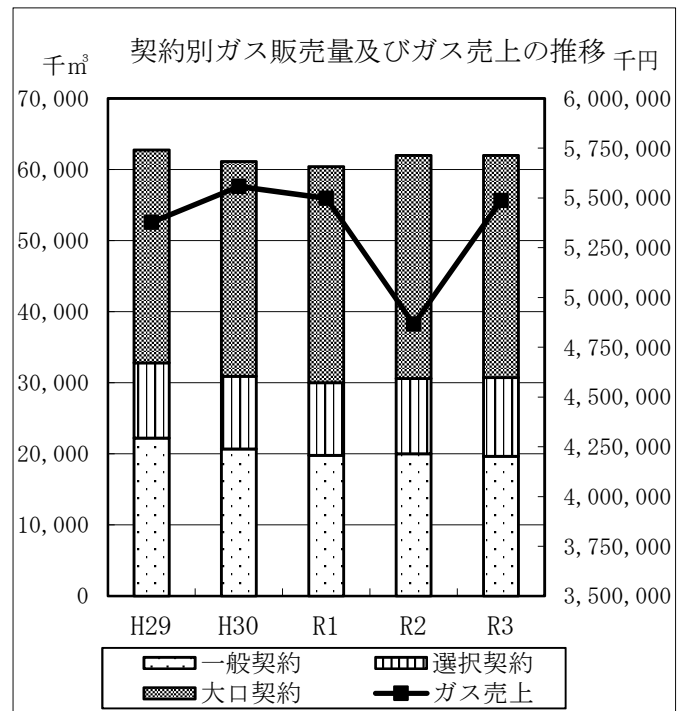
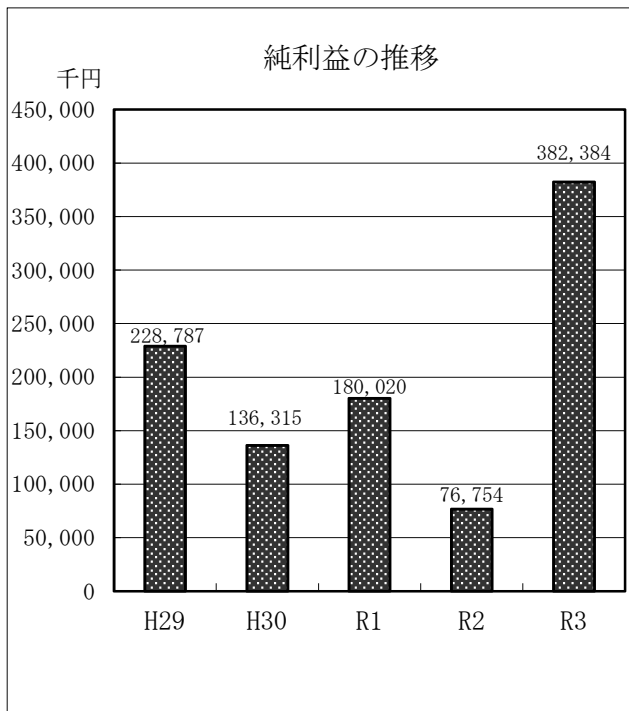
## 農政建設常任委員会資料

案件番号	案件名	提出課	ページ
議案第81号	令和3年度上越市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	経営企画課	1～30
議案第82号	令和3年度上越市水道事業会計決算認定及び利益の処分について		31～65
議案第83号	令和3年度上越市工業用水道事業会計決算認定について		66～70

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第81号
提出課	経営企画課

## 令和3年度上越市ガス事業会計決算の概要

- ガス販売量は、コロナ禍からの社会経済活動の再開により、工業用及び商業用では45.3万 $\text{m}^3$  (1.4%) 増加した一方で、家庭用などでは47.7万 $\text{m}^3$  (1.7%) 減少し、全体では6,198.1万 $\text{m}^3$ と前年度とほぼ同量となった。また、脱炭素社会の実現に向けた新たな取組として、大口需要家を対象にカーボンニュートラルガスの供給を令和3年7月から開始した。
- 収益的収支では、ガス販売量は前年度とほぼ同量であったものの、液化天然ガス輸入価格の上昇に伴い原料費調整額が増加したことにより、ガス売上は前年度に比べ6億2,086万円 (12.8%) 増加した。また、支出では、収入と同様に液化天然ガス輸入価格の上昇により、原料ガス費が3億9,211万円 (12.8%) 増加した一方、固定資産の法定耐用年数の経過に伴い減価償却費が1億248万円 (7.4%) 減少したことなどから、当年度純利益は前年度に比べ3億563万円増の3億8,238万円となった。
- 資本的収支では、地震などの災害発生時におけるガス供給停止範囲を最小限とするガスマ網のブロック化は、整圧器室などを新設し本年度で整備が完了した。このほか、平成30年度に経年管更新事業及び低圧導管耐震化事業が完了し、管路耐震化率は他工事と関連して実施する箇所を除き100%ではあるが、下水道工事など他の工事に合わせ、より耐震性に優れたポリエチレン管などへの更新を行った。
- 営業活動では、体感型ショールーム「ガステラス」を拠点として、新築やリフォームを検討されるお客様に都市ガスの利便性や安全性、環境優位性をPRし、都市ガスの採用拡大に向けた情報発信を進めた。



※選択契約は、一般契約と大口契約以外の契約

## 1 業務の概要

◇ガス販売量は、コロナ禍からの社会経済活動の再開により、工業用及び商業用は増加した一方で家庭用などは減少し、全体では前年度とほぼ同量となった。また、脱炭素社会の実現へ向けた新たな取組として、大口需要家を対象にカーボンニュートラルガスの供給を開始した。

### (都市ガス)

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 行政区域内戸数	75,063	75,483	75,904	76,546	76,674	128	0.2%
2 供給区域内戸数	56,156	56,469	56,978	57,704	58,003	299	0.5%
3 供給戸数	46,541	46,597	46,721	46,770	46,676	△ 94	△ 0.2%
4 普及率	82.88	82.52	82.00	81.05	80.47	△ 0.58	-
5 年間ガス購入量 (うちCNガス※)	62,808,548 -	61,170,668 -	60,476,131 -	62,089,339 -	62,075,791 (482,205)	△ 13,548 (482,205)	△ 0.0% (皆増)
6 年間ガス送出量	62,832,801	61,175,908	60,469,577	62,085,965	62,074,138	△ 11,827	△ 0.0%
7 年間ガス販売量 (うちCNガス※)	62,761,029 -	61,116,046 -	60,387,731 -	62,005,206 -	61,981,392 (456,000)	△ 23,814 (456,000)	△ 0.0% (皆増)
8 一日最大送出量 (一日最大月日)	300,746 (1/24)	292,343 (2/13)	288,441 (2/6)	310,648 (1/8)	299,684 (2/22)	△ 10,964	△ 3.5%
9 一日平均送出量	172,145	167,605	165,217	170,099	170,066	△ 33	△ 0.0%
10 一日平均販売量	171,948	167,441	164,994	169,877	169,812	△ 65	△ 0.0%
11 有効率	99.94	99.96	99.92	99.93	99.91	△ 0.02	-
12 職員数	49	49	49	48	48	0	0.0%

※CNガスはカーボンニュートラルガス

### (液化石油ガス)

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 供給戸数	178	174	170	168	166	△ 2	△ 1.2%
2 年間ガス送出量	12,844	12,567	11,999	11,990	11,684	△ 306	△ 2.6%
3 年間ガス販売量	13,138	12,632	12,047	12,239	11,695	△ 544	△ 4.4%
4 一日平均送出量	35	34	33	33	32	△ 1	△ 3.0%
5 一日平均販売量	36	35	33	34	32	△ 2	△ 5.9%

※送出量・販売量などは、標準熱量100.4652MJでの数値

## 2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

### (1) 収益的収支

単位：千円

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
入	営業収益	5,377,801	5,557,723	5,498,140	4,865,516	5,486,379	620,863	12.8%
	ガス売上	5,377,801	5,557,723	5,498,140	4,865,516	5,486,379	620,863	12.8%
	営業雑収益	263,318	280,195	319,357	274,661	183,673	△ 90,988	△ 33.1%
	附帯事業収益	8,148	6,689	5,272	5,246	5,056	△ 190	△ 3.6%
	営業外収益	501,595	458,184	418,802	406,003	351,174	△ 54,829	△ 13.5%
	繰入金	5,434	4,502	3,892	3,565	3,170	△ 395	△ 11.1%
	長期前受金戻 の他	461,528	416,528	377,402	366,732	312,895	△ 53,837	△ 14.7%
	営業外収益	34,633	37,154	37,508	35,706	35,109	△ 597	△ 1.7%
特別利益	0	0	0	0	89	89	皆増	
収入計	6,150,862	6,302,791	6,241,571	5,551,426	6,026,371	474,945	8.6%	
支	営業費用	5,590,854	5,820,474	5,691,397	5,148,179	5,409,129	260,950	5.1%
	原料ガス費	3,194,371	3,510,110	3,571,600	3,061,098	3,453,211	392,113	12.8%
	職員給与費	302,326	312,515	325,732	318,877	315,772	△ 3,105	△ 1.0%
	(うち退職給付費)	(0)	(16,628)	(27,974)	(24,473)	(25,763)	(1,290)	(5.3%)
	修繕費	77,618	103,799	94,164	95,614	111,721	16,107	16.8%
	動力費	313	289	299	289	331	42	14.5%
	委託料	166,130	157,088	166,319	157,593	161,645	4,052	2.6%
	減価償却費	1,615,170	1,531,483	1,437,960	1,386,082	1,283,605	△ 102,477	△ 7.4%
	その他 営業費用	234,926	205,190	95,323	128,626	82,844	△ 45,782	△ 35.6%
	営業雑費用	251,938	273,139	310,563	270,389	187,447	△ 82,942	△ 30.7%
	附帯事業費用	7,815	5,972	4,432	3,163	4,023	860	27.2%
	営業外費用	71,382	65,745	55,093	49,210	43,261	△ 5,949	△ 12.1%
	支払利息	70,049	62,085	54,823	48,286	42,370	△ 5,916	△ 12.3%
その他 営業外費用	1,333	3,660	270	924	891	△ 33	△ 3.6%	
特別損失	86	1,146	66	3,731	127	△ 3,604	△ 96.6%	
支出計	5,922,075	6,166,476	6,061,551	5,474,672	5,643,987	169,315	3.1%	
収支差引(純損益)	228,787	136,315	180,020	76,754	382,384	305,630	398.2%	

## (2) 資本的収支

単位：千円

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	補助金	0	0	2,241	29,757	0	△ 29,757	皆減
	工事負担金	156,288	242,008	241,506	208,071	152,393	△ 55,678	△ 26.8%
	固定資産売却収入	8	39	23	121,569	240	△ 121,329	△ 99.8%
収 入 計		156,296	242,047	243,770	359,397	152,633	△ 206,764	△ 57.5%
支 出	建設改良費	977,638	1,041,091	955,619	1,327,729	722,083	△ 605,646	△ 45.6%
	(うち職員給与費)	(76,434)	(75,362)	(73,204)	(74,989)	(75,007)	(18)	(0.0%)
	土地	0	0	0	4,041	2,128	△ 1,913	△ 47.3%
	建物	10,731	42,068	60,773	558,686	4,654	△ 554,032	△ 99.2%
	構築物	2,505	0	0	3,306	2,556	△ 750	△ 22.7%
	機械装置	6,097	145,286	0	3,775	0	△ 3,775	皆減
	車両運搬具	1,135	6,338	2,427	3,075	0	△ 3,075	皆減
	工具器具備品	17,844	6,171	7,777	24,770	10,557	△ 14,213	△ 57.4%
	ガスメーター	14,000	12,107	14,255	8,675	8,759	84	1.0%
	導管本支管	776,222	663,041	662,836	545,146	557,610	12,464	2.3%
	導管供給管	140,782	150,918	189,511	176,255	135,569	△ 40,686	△ 23.1%
ソフトウェア	8,322	15,162	18,040	0	250	250	皆増	
企業債償還金	408,978	394,647	372,308	351,349	327,555	△ 23,794	△ 6.8%	
支 出 計		1,386,616	1,435,738	1,327,927	1,679,078	1,049,638	△ 629,440	△ 37.5%
差 引 不 足 額		1,230,320 (1,230,320)	1,193,691 (1,193,691)	1,084,157 (1,084,157)	1,319,681 (1,319,681)	897,005 (897,005)	△ 422,676 (△ 422,676)	△ 32.0% (△ 32.0%)
補 填 財 源	過年度分損益勘定 留保資金	109	873	792	422	912	490	116.1%
	当年度分損益勘定 留保資金	1,186,211	1,183,818	1,074,365	1,051,259	896,093	△ 155,166	△ 14.8%
	減債積立金	13,000	2,000	2,000	80,000	0	△ 80,000	皆減
	建設改良積立金	31,000	7,000	7,000	188,000	0	△ 188,000	皆減
	計	1,230,320	1,193,691	1,084,157	1,319,681	897,005	△ 422,676	△ 32.0%
企 業 債 残 高		3,720,023	3,325,376	2,953,068	2,601,718	2,274,163	△ 327,555	△ 12.6%

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

# 令和3年度決算の概況

【税抜：万円未満省略】

## 収益的収支

収入：60億2,637万円

ガス料金収入 54億8,637万円
長期前受金戻入 3億1,309万円
その他の収入 2億2,689万円

支出：56億4,398万円

原料ガス費 34億5,321万円
人件費 3億2,679万円
修繕費等 1億1,547万円
委託料等 4億1,252万円
支払利息 4,236万円
減価償却費等 12億9,363万円
収支差引額（利益） 3億8,238万円

## 資本的収支

収入：1億5,263万円

工事負担金 1億5,239万円
固定資産売却収入 23万円
収支不足額 8億9,700万円

支出：10億4,963万円

建設改良費 7億2,208万円
企業債償還金 3億2,755万円

項目	留保資金等	補填額※2
①過年度分 損益勘定留保資金	91万円	91万円
②当年度分 損益勘定留保資金※1	9億8,066万円	8億9,609万円
③積立金等	26億3,655万円	0万円
計	36億1,812万円	8億9,700万円

※1 減価償却費等から長期前受金戻入分の金額を除いた額  
 ※2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補填する。

### 3 決算主要項目の内容

#### (1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予算額	決算額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳					
			営業収益	営業雑収益	附帯事業収益	営業外収益	特別利益	
6,597,027	6,596,833	△ 194	109,381	△ 107,408	△ 60	△ 2,197	90	
(収益的支出) 予算額	決算額	不用額	不用額の内訳					
			営業費用	営業雑費用	附帯事業費用	営業外費用	特別損失	予備費
6,340,064	6,145,142	194,922	91,286	101,477	1,154	5	0	1,000

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

#### ①収益的収入

◇ガス販売量は前年度とほぼ同量となったものの、液化天然ガス輸入価格の上昇により原料費調整額が増加したことから、ガス売上は前年度に比べ6億2,086万円（12.8%）増加した。

単位：千円

項目	2年度決算	3年度決算	比較
ガス売上	4,865,516	5,486,379	620,863

#### ○ガス契約区分別使用量実績

##### 1) 戸数

単位：戸；件

契約区分	2年度		3年度		増減		増減率		構成比	
	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	年度末戸数	年間延件数	2年度	3年度
	一般契約	44,611	535,826	44,466	536,000	△ 145	174	△0.3%	0.0%	95.4%
小型空調契約	90	1,103	89	1,073	△ 1	△ 30	△1.1%	△2.7%	0.2%	0.2%
空調契約	26	312	26	314	0	2	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
天然ガススタンド契約	1	12	1	12	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
時間帯別B契約	36	463	39	450	3	△ 13	8.3%	△2.8%	0.1%	0.1%
家庭用温水暖房契約	1,865	21,855	1,907	22,603	42	748	2.3%	3.4%	4.0%	4.1%
融雪契約	16	192	16	192	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小型空調パッケージ契約	77	921	77	925	0	4	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%
コーシエネレーション契約	6	72	6	72	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭用コーシエネレーション契約	24	253	31	317	7	64	29.2%	25.3%	0.1%	0.1%
大口契約	18	216	18	216	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	46,770	561,225	46,676	562,174	△ 94	949	△0.2%	0.2%	100.0%	100.0%

## 2) 使用量

単位：m<sup>3</sup>

契約区分	使用量		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
一般契約	20,004,914	19,667,812	△ 337,102	△1.7%	32.3%	31.7%	37.3	36.7	△1.6%
小型空調契約	940,384	940,157	△ 227	△0.0%	1.5%	1.5%	852.6	876.2	2.8%
空調契約	808,729	873,433	64,704	8.0%	1.3%	1.4%	2,592.1	2,781.6	7.3%
天然ガススタンド契約	12,931	7,084	△ 5,847	△45.2%	0.0%	0.0%	1,077.6	590.3	△45.2%
時間帯別B契約	4,208,181	4,665,250	457,069	10.9%	6.8%	7.5%	9,088.9	10,367.2	14.1%
家庭用温水暖房契約	1,675,088	1,678,201	3,113	0.2%	2.7%	2.7%	76.6	74.2	△3.1%
融雪契約	613,525	466,074	△ 147,451	△24.0%	1.0%	0.8%	3,195.4	2,427.5	△24.0%
小型空調パッケージ契約	1,664,281	1,765,711	101,430	6.1%	2.7%	2.9%	1,807.0	1,908.9	5.6%
コージェネレーション契約	650,823	642,850	△ 7,973	△1.2%	1.0%	1.0%	9,039.2	8,928.5	△1.2%
家庭用コージェネレーション契約	32,429	39,323	6,894	21.3%	0.1%	0.1%	128.2	124.0	△3.3%
大口契約	31,393,921	31,235,497	△ 158,424	△0.5%	50.6%	50.4%	145,342.2	144,608.8	△0.5%
合計	62,005,206	61,981,392	△ 23,814	△0.0%	100.0%	100.0%	110.5	110.3	△0.2%

## ○ガス用途区分別使用量・料金実績

## 1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	2年度		3年度		増減		増減率		構成比	
	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末戸数	3年度
	戸数	延件数	戸数	延件数	戸数	延件数	戸数	延件数	2年度	3年度
家庭用	43,292	519,260	43,235	520,746	△ 57	1,486	△0.1%	0.3%	92.6%	92.6%
工業用	74	892	75	895	1	3	1.4%	0.3%	0.2%	0.2%
商業用	2,678	32,360	2,645	31,877	△ 33	△ 483	△1.2%	△1.5%	5.7%	5.7%
官庁・学校用	726	8,713	721	8,656	△ 5	△ 57	△0.7%	△0.7%	1.5%	1.5%
合計	46,770	561,225	46,676	562,174	△ 94	949	△0.2%	0.2%	100.0%	100.0%

## 2) 使用量

単位：m<sup>3</sup>

用途区分	使用量		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家庭用	18,557,060	18,177,453	△ 379,607	△2.0%	29.9%	29.3%	35.7	34.9	△2.2%
工業用	28,138,161	28,524,932	386,771	1.4%	45.4%	46.0%	31,545.0	31,871.4	1.0%
商業用	5,378,842	5,445,718	66,876	1.2%	8.7%	8.8%	166.2	170.8	2.8%
官庁・学校用	9,931,143	9,833,289	△ 97,854	△1.0%	16.0%	15.9%	1,139.8	1,136.0	△0.3%
合計	62,005,206	61,981,392	△ 23,814	△0.0%	100.0%	100.0%	110.5	110.3	△0.2%

## 3) 料金

単位：円

用途区分	料金		増減	増減率	構成比		1か月1戸当たり使用料		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家庭用	2,037,607,125	2,206,028,357	168,421,232	8.3%	41.9%	40.2%	3,924	4,236	8.0%
工業用	1,626,085,143	1,907,097,164	281,012,021	17.3%	33.4%	34.8%	1,822,965	2,130,835	16.9%
商業用	464,014,866	519,629,647	55,614,781	12.0%	9.5%	9.5%	14,339	16,301	13.7%
官庁・学校用	737,808,640	853,623,694	115,815,054	15.7%	15.2%	15.5%	84,679	98,616	16.5%
合計	4,865,515,774	5,486,378,862	620,863,088	12.8%	100.0%	100.0%	8,669	9,759	12.6%



単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
営 業 雑 収 益	274,661	183,673	△ 90,988

○年度末供給戸数 46,676 戸

令和3年度実績値

受注工事収益 179,117 千円

受注工事収益（修繕・その他） 4,541 千円

その他営業雑収益 15 千円

単位：件

	新設工事	改造工事	増設工事	撤去工事	その他	合 計
2年度	215	359	43	293	23	933
3年度	172	341	51	363	33	960
比 較	△ 43	△ 18	8	70	10	27

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
附 帯 事 業 収 益	5,246	5,056	△ 190

○LPガス用途区分別使用量・料金実績

1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	2年度		3年度		増 減		増 減 率		構 成 比	
	年度末 戸 数	年 間 延件数	年度末 戸 数	年 間 延件数	年度末 戸 数	年 間 延件数	年度末 戸 数	年 間 延件数	年度末 戸 数	3年度
家 庭 用	159	1,920	157	1,881	△ 2	△ 39	△1.3%	△2.0%	94.6%	94.6%
商 業 用	3	36	3	36	0	0	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
そ の 他	6	72	6	72	0	0	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%
合 計	168	2,028	166	1,989	△ 2	△ 39	△1.2%	△1.9%	100.0%	100.0%

2) 使用量

単位：m<sup>3</sup>

用途区分	使 用 量		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家 庭 用	12,002	11,491	△ 511	△4.3%	98.0%	98.2%	6.3	6.1	△3.2%
商 業 用	229	198	△ 31	△13.5%	1.9%	1.7%	6.4	5.5	△14.1%
そ の 他	8	6	△ 2	△25.0%	0.1%	0.1%	0.1	0.1	0.0%
合 計	12,239	11,695	△ 544	△4.4%	100.0%	100.0%	6.0	5.9	△1.7%

## 3) 料金

単位：円

用途区分	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 料		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家 庭 用	4,842,725	4,643,153	△ 199,572	△4.1%	96.8%	96.9%	2,522	2,468	△2.1%
商 業 用	97,570	85,730	△ 11,840	△12.1%	2.0%	1.8%	2,710	2,381	△12.1%
そ の 他	61,200	61,200	0	0.0%	1.2%	1.3%	850	850	0.0%
合 計	5,001,495	4,790,083	△ 211,412	△4.2%	100.0%	100.0%	2,466	2,408	△2.4%

- 年度末供給戸数 166 戸  
 令和3年度実績値  
 受注工事収益 64 千円  
 ○附帯事業営業外収益  
 長期前受金戻入 202 千円

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
営 業 外 収 益	406,003	351,174	△ 54,829

## ○営業外収益の内訳

単位：千円

		2年度	3年度	比 較
受 取 利 息	預金利息	47	27	△ 20
	貸付金利息	272	56	△ 216
	小 計	319	83	△ 236
繰 入 金	児童手当	3,565	3,170	△ 395
	小 計	3,565	3,170	△ 395
長 期 前 受 金 戻 入	長期前受補助金戻入	696	1,670	974
	長期前受工事負担金戻入	338,511	297,359	△ 41,152
	長期前受受贈財産評価額戻入	644	418	△ 226
	長期前受繰入金戻入	26,881	13,448	△ 13,433
小 計		366,732	312,895	△ 53,837
雑 収 益	貸付料	2,108	197	△ 1,911
	下水道等受託収益	28,997	30,373	1,376
	補償修繕収益	713	1,023	310
	その他	3,569	3,433	△ 136
小 計		35,387	35,026	△ 361
合 計		406,003	351,174	△ 54,829

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
特 別 利 益	0	89	89

- 土地売却益 89 千円  
 ・旧頸城区西福島整圧器室用地売却益

②収益的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

◇液化天然ガス輸入価格の上昇により原料費調整額が増加したことから原料ガス購入費が3億9,211万円（12.8%）増加

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
原料ガス購入業務	3,061,098	3,453,211	392,113
経費内訳			
売上原価	2,437,572	事業者間精算費	1,015,639
【目的】 都市ガスを安定的に供給するために原料ガスを確保する。			
【概要及び成果】 液化天然ガス輸入価格の上昇に伴い原料ガス購入費が増加した。			
単位：m <sup>3</sup>			
	2年度	3年度	比較
ガス購入量	62,089,339	62,075,791	△ 13,548

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
供給所運転管理業務	8,969	11,943	2,974
経費内訳			
備用品費	2,632	保険料	203
修繕費	5,216	通信運搬費	1,470
動力費	208	委託料	553
光熱燃料費	498	手数料	116
使用ガス費	1,047		
【目的】 ガス供給所の運転管理業務の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長寿命化を図り、施設の更新需要を抑制する。			
【概要及び成果】 定期的な点検整備を実施し、適正な運転管理に努めた。			
＜主な費用＞			
備用品費	付臭剤		2,522 千円
修繕費	大湊ガス供給所可燃性ガス検知器更新工事		2,000 千円
	中郷ガス供給所付臭ポンプ分解点検修繕工事		1,400 千円
通信運搬費	各供給所専用回線使用料		905 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
供給施設維持管理業務	54,040	56,797	2,757

経費内訳

報酬	1,741	使用ガス費	189
手当	121	賃借料	460
法定福利費	314	保険料	221
備用品費	1,037	通信運搬費	1,355
旅費交通費	56	委託料	21,561
修繕費	4,333	手数料	407
特別修繕引当金繰入額	13,000	印刷製本費	155
動力費	122	租税課金	51
光熱燃料費	2,151	固定資産除却費	9,523

【目的】

地区整圧器室、整圧器の維持管理業務の実施及び定期的な点検整備により、施設等の長寿命化を図り、施設の更新需要を抑制する。

【概要及び成果】

整圧器等施設の定期的な点検整備を実施し、適正な維持管理に努めた。

<主な費用>

報酬	会計年度任用職員 1人	1,720 千円
修繕費	各整圧器室建物修繕工事	2,677 千円
委託料	維持管理業務委託料	6,877 千円
	整圧器分解点検業務委託料	5,717 千円
	南部ガス供給所電気計装設備点検業務委託料	2,480 千円
	北本町ガス供給所地下水水質調査業務委託料	131 千円
固定資産除却費	導管本支管撤去工事	6,286 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
ガス管修繕業務	37,973	34,937	△ 3,036
経費内訳			
備用品費	318	手数料	36
修繕費	34,449	印刷製本費	21
光熱燃料費	3	租税課金	16
保険料	94		
【特定財源】			
その他雑収益	1,023		
【目的】			
ガス漏えい及び導管に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要及び成果】			
ガス管の漏えいや急を要する他工事に係る支障物件の移転に迅速に対応し、安定供給の継続を図った。			
本支管・供給管修理件数 21件（令和2年度 16件）			
<主な費用>			
修繕費	責任修繕工事費	25,667 千円	
	責任修繕工事舗装本復旧費	5,305 千円	
	補償修繕工事費	939 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
ガスメーター取替業務	61,908	84,568	22,660
経費内訳			
備用品費	85	通信運搬費	281
修繕費	66,136	委託料	18,002
光熱燃料費	1	印刷製本費	63
【目的】			
計量法に基づき、検定満期を迎えるガスメーターを取り替える。			
【概要及び成果】			
検定満期を迎えるガスメーターを計画的に取り替えた。 取替対象数の増加により、事業費が増加した。			
<主な費用>			
修繕費	取替用ガスメーター	65,828 千円	
	(取替数5,413個、対前年度比1,070個の増)		
委託料	取替業務委託料	18,002 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較												
受注工事業務	265,848	178,167	△ 87,681												
経費内訳															
報酬	1,320	保険料	25												
手当	143	通信運搬費	16												
法定福利費	229	委託料	1,597												
備用品費	369	印刷製本費	15												
修繕費	3,525	工事請負費	170,086												
光熱燃料費	28	器具販売原価	412												
賃借料	402														
【特定財源】															
受注工事収益	178,167														
【目的】															
安全で安定した供給を行うための装置工事の施工に係る管理を行う。															
【概要及び成果】															
<p>需要家から申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。</p> <p>新設、改造工事及び大規模な業務用途の内管工事件数が減少したことにより、事業費が減少した。</p>															
<p>&lt;主な費用&gt;</p> <table> <tr> <td>報酬</td> <td>会計年度任用職員 1人</td> <td>1,320 千円</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>受注修繕工事費</td> <td>3,327 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>工事受付システム維持管理費</td> <td>1,597 千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>受注工事請負費</td> <td>170,086 千円</td> </tr> </table>				報酬	会計年度任用職員 1人	1,320 千円	修繕費	受注修繕工事費	3,327 千円	委託料	工事受付システム維持管理費	1,597 千円	工事請負費	受注工事請負費	170,086 千円
報酬	会計年度任用職員 1人	1,320 千円													
修繕費	受注修繕工事費	3,327 千円													
委託料	工事受付システム維持管理費	1,597 千円													
工事請負費	受注工事請負費	170,086 千円													

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
液化石油ガス販売事業	3,163	4,024	861
経費内訳			
液化石油ガス売上原価	2,065	手数料	65
備用品費	382	印刷製本費	14
修繕費	234	負担金及び補助	39
光熱燃料費	29	租税課金	1
賃借料	48	雑費	27
保険料	10	固定資産除却費	1
通信運搬費	31	減価償却費	202
委託料	822	工事請負費	54
【特定財源】			
液化石油ガス売上	3,758	長期前受金戻入	202
液化石油ガス受注工事収益	64		
【目的】			
液化石油ガスを安全で安定的に供給する。			
【概要及び成果】			
液化石油ガス供給施設（大湊区）の維持管理を適正に行い、安全で安定的にガスを供給した。			
販売量	11,695m <sup>3</sup> （令和2年度に対し544m <sup>3</sup> 、4.4%の減）		
供給戸数	166戸（令和2年度に対し2戸、1.2%の減）		

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎白ガス灯外内管対策	620	693	73
経費内訳			
委託料	693		
【目的】 需要家の敷地に埋設された経年埋設内管（白ガス管）を耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管へ入れ替えることで、ガス漏れ事故の防止及び耐震性の向上を図る。			
【概要及び成果】 需要家の資産である白ガス管の腐食性や地震に対する脆弱性を戸別訪問により周知・説明し、白ガス灯外内管の削減を図った。改善折衝は、定期保安調査に合わせて行った。 ※灯外内管：道路境界からガスメーターまでのガス管 折衝件数 880件 改善件数 165件(撤去123件、入替42件)  ＜主な費用＞ 委託料 白ガス灯外内管折衝業務委託料 693 千円			
【課題及び今後の方向性】 これまで需要家に対し実施してきた個別訪問により、腐食性や地震に対する脆弱性については承知されているが、「建物の更新時に合わせて入れ替える」、「費用の準備に時間を要する」などの理由から大きな進捗は見込めない状況である。今後も需要家と連携してガス漏れ事故の防止に向けて継続して折衝を行っていく。			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ガス管漏えい検査	4,299	2,682	△ 1,617
経費内訳			
委託料	2,682		
【目的】 道路に埋設されているガス管の漏えい検査を実施し、安全で安定した供給を確保する。			
【概要及び成果】 ガス事業法に基づき、4年に1回の頻度で漏えい検査を実施しており、検査対象区域はガス供給エリアを4地区に分割し、4年間で対象となるガス管について漏えい検査を行う。 令和3年度では柿崎区、大潟区及び中郷区を実施した。 (令和3年度実績 検査延長 94,779m 漏えい発見件数 6件)  ＜主な費用＞ 委託料 導管漏えい検査業務委託料 2,682 千円			
【課題及び今後の方向性】 漏えい検査が必要なガス管537k mの検査を確実にし、漏えいを発見した場合は緊急修繕により対応を行う。			



単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 定期保安調査	34,528	35,934	1,406

経費内訳

報酬	1,310	保険料	24
手当	142	通信運搬費	90
法定福利費	231	委託料	31,843
備用品費	485	手数料	10
修繕費	765	印刷製本費	979
光熱燃料費	48	租税課金	7

【目的】

ガス事業法に基づく内管漏えい検査及び消費機器調査を実施し、漏えいや消費機器の不備による事故を未然に防止することで、需要家の安全なガス使用を確保する。

【概要及び成果】

ガス事業法に基づき、4年に1回の頻度で内管漏えい検査及び消費機器調査を実施した。

○定期保安調査件数

単位：件

項目	調査件数	不備発見数
戸建一般需要家検査	7,773	16
集合一般需要家検査	3,272	2
業務用需要家検査	293	0
メーター無し灯外内管検査	916	0
閉栓灯外内管検査	1,043	0
検査対象需要家不在件数	723	
合計	14,020	18

<主な費用>

委託料                                      消費機器調査及び内管検査業務委託料                                      31,843 千円

【課題及び今後の方向性】

町内回覧により内管漏えい検査等の調査について事前に周知し、その後、各需要家と訪問日時等の調整を行うが、長期不在等により未調査となる件数が増えている。この需要家に対しては、更にダイレクトメールを郵送し、調査の機会をいただき未調査件数の削減を図る。

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
マッピングシステム整備業務	3,709	3,879	170
経費内訳			
報酬	1,540	旅費交通費	44
手当	167	修繕費	29
法定福利費	281	委託料	1,818
【目的】			
ガス水道管路情報システム（マッピング）の管理を行い、ガス施設の維持管理及び将来計画に活用する。			
【概要及び成果】			
工事竣工に伴うガス管情報の修正などを行い、システムを適正に維持管理した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,540 千円
委託料	マッピングシステムソフト保守業務委託料		1,818 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
都市ガスPR活動業務	10,766	11,125	359

経費内訳

報酬	4,942	光熱燃料費	49
手当	532	保険料	56
法定福利費	875	通信運搬費	183
備用品費	32	手数料	20
旅費交通費	144	租税課金	10
修繕費	152	需要開発費	4,130

【特定財源】

その他雑収益	218
--------	-----

【目的】

クリーンなエネルギーで供給安定性の高い都市ガスを幅広くPRすることで、新規の業務用及び家庭用の販売拡大を目指すとともに、既存需要家の都市ガス離れの防止を図る。

【概要及び成果】

最新ガス機器を「いつでも」「見て」「触れる」ことが出来る体感型ショールーム「ガステラス」を営業拠点に、都市ガスの利便性や安全性、環境優位性をPRするとともに、家庭用温水暖房契約などの割引料金プランを提案するなど、都市ガスの採用拡大に向け、情報発信を行った。

これに加え、ガス水道フェア等のPRイベントを実施したほか、各種メディアを活用した広報及び住宅販売会社等への営業活動を行った。また、業務用ガス販売では、重油等の他燃料を使用している工場などに対し燃料転換の提案を行い、需要拡大を図った。



ラク家事体験会（ガステラス）



ガス水道フェア（上越観光物産センター）

<主な費用>

報酬	会計年度任用職員 3人	4,942 千円
需要開発費	ガス水道フェア経費	827 千円
	ショールーム「ガステラス」運営費	656 千円
	ガス広告経費	2,136 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎都市ガス設置機器助成金	4,928	4,548	△ 380
経費内訳			
需要開発費	4,548		
【目的】			
人口減少やオール電化等の他燃料との競合などにより減少傾向にある家庭用ガス販売量維持のため、都市ガス機器設置に対し助成金を交付する。			
【概要及び成果】			
従来型のガス給湯器に比べ環境負荷を軽減する家庭用燃料電池「エネファーム」と高効率給湯器「エコジョーズ」の設置費の助成を行い、エネルギーの省力化を図るとともに家庭用ガス販売量の促進に努めた。			
なお、エネファームについては、申込みが予算を上回る見通しとなったことから助成枠を拡大し対応した。			
また、ガス衣類乾燥機について、使用データの提供を受け、今後の営業展開に向けた市場調査を行うため、設置費を助成した。			
＜主な費用＞			
エネファーム	400千円/台 × 8台	= 3,200千円	(令和2年度助成台数 6台)
エコジョーズ	30千円/台 × 22台	= 660千円	(令和2年度助成台数 66台)
(温水暖房機器と同時設置)			
エコジョーズ	20千円/台 × 5台	= 100千円	(令和2年度助成台数 19台)
(暖房機能付き)			
【課題及び今後の方向性】			
新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴うガス機器の納期遅延により、給湯器の設置工事に大きく影響し助成台数が減少した。引き続き各メーカーの納品状況を注視し、計画的な機器入替等を周知していく。			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
料金徴収委託業務	84,838	83,751	△ 1,087
経費内訳			
修繕費	150	委託料	75,445
賃借料	1,036	手数料	132
通信運搬費	6,988		
【特定財源】			
その他雑収益	30,373		
【目的】			
民間ノウハウを活用することで、事務効率の向上とお客様サービスの充実を図る。			
【概要及び成果】			
民間事業者に包括的な料金徴収業務を委託し、民間のノウハウを活用したことにより、収納率は中期経営計画の計画値99.5%に対し、実績値は99.6%となり、0.1ポイント上回る事ができた。			
＜主な費用＞			
賃借料	料金システムリース料		1,036 千円
通信運搬費	料金納入令書郵送料		6,911 千円
委託料	料金等徴収業務委託料		68,017 千円
	料金口座振替及びコンビニ収納手数料		6,845 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
無線設備管理業務	256	190	△ 66
経費内訳			
修繕費	1	委託料	136
通信運搬費	41	手数料	12
【目的】 ガス漏えい対応や災害時などにおける緊急連絡用無線設備を適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 電波法に基づく許可申請及び設備の維持管理を行った。			
＜主な費用＞			
委託料	無線設備定期点検業務委託料		50 千円
	旧中郷区営業所及び旧南部営業所無線設備廃止業務委託料		86 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
局ネットワーク管理業務	3,977	4,113	136
経費内訳			
備用品費	50	通信運搬費	440
修繕費	23	委託料	3,450
賃借料	150		
【目的】 局のネットワーク、サーバ等について、セキュリティを含め適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。			
＜主な費用＞			
委託料	電算処理運用支援業務委託料		2,088 千円
	局内イントラネット保守業務委託料		1,341 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
入札業務	1,986	2,268	282
経費内訳			
報酬	1,319	賃借料	20
手当	114	委託料	6
法定福利費	216	印刷製本費	4
備用品費	12	負担金及び補助	533
旅費交通費	44		
【目的】			
建設工事等について、透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に執行する。			
【概要及び成果】			
建設工事等を透明性の高い電子入札システムにより執行した。また、ガス水道本支管工事において、制限付き一般競争入札や「一抜け方式」を引き続き実施するなど、公平性及び競争性の確保に努めた。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
負担金及び補助	電子入札システム使用負担金		510 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
庁舎維持管理業務	31,317	7,802	△ 23,515
経費内訳			
備用品費	121	保険料	35
修繕費	88	通信運搬費	366
光熱燃料費	1,702	委託料	3,931
使用ガス費	402	手数料	798
賃借料	316	雑費	43
【特定財源】			
その他雑収益	8		
【目的】			
本局庁舎の適切な維持管理により執務環境を確保する。			
【概要及び成果】			
本局庁舎の施設及び設備の定期的な保守点検等を実施し、安全性を確保した。 令和2年度において新庁舎建設に伴う備品を購入したことから、令和3年度の事業費は減少した。			
＜主な費用＞			
光熱燃料費	庁舎電気料		1,448 千円
委託料	庁舎維持管理業務委託料		2,478 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
経 理 業 務	2,643	2,819	176
経費内訳			
報酬	1,319	委託料	974
手当	143	印刷製本費	16
法定福利費	253	負担金及び補助	9
旅費交通費	105		
【目的】			
地方公営企業法を始めとする関係法令に基づき適正な会計処理を行うことにより、事業経営の健全性を維持する。			
【概要及び成果】			
上越市ガス水道事業会計規程に基づく経理処理を行うとともに、会計システムを適正に管理した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
委託料	企業会計システム保守業務委託料		974 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 職 員 研 修	170	455	285
経費内訳			
備用品費	64	手数料	17
旅費交通費	86	負担金及び補助	288
【目的】			
外部研修、内部研修を通じて職員の知識及び技術力の向上を図る。			
【概要及び成果】			
職員の技術や知識の向上・継承のため、ガス管接続を行う実地研修や災害時における移動式ガス発生設備の設置研修などを実施した。また、職員に技術資格の取得を推奨するため、受験費用の一部助成を行った。			
＜主な費用＞			
旅費交通費	研修会旅費交通費		86 千円
負担金及び補助	研修会参加費等		288 千円
【課題及び今後の方向性】			
職員技術のより一層の向上を図るため、職員目標とする技術力の到達度を確認するとともに、研修カリキュラムを検証し、効率的、効果的な研修を進めていく。			



単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業費用	1,740,154	1,607,348	△ 132,806

経費内訳

報酬	1,720	賃借料	558
給料	147,713	保険料	1,299
手当	59,701	通信運搬費	86
賞与引当金繰入額	17,849	委託料	551
法定福利費	44,370	手数料	83
法定福利費引当金繰入額	3,118	印刷製本費	7
厚生福利費	351	負担金及び補助	5,037
退職給付引当金	25,763	租税課金	38
備用品費	3,501	貸倒引当金繰入額	984
旅費交通費	136	雑費	238
修繕費	378	固定資産除却費	9,835
光熱燃料費	317	減価償却費	1,283,606
使用ガス費	109		

【概要及び成果】

法定耐用年数の経過に伴い、減価償却費が減少したことから、その他営業費用が減少した。

<主な費用>

職員給与費（営業費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
2年度	37人	149,553	81,939	24,473	49,163	305,128
3年度	37人	147,713	77,363	25,763	47,198	298,037
比較	0人	△ 1,840	△ 4,576	1,290	△ 1,965	△ 7,091

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業雑費用	8,153	9,345	1,192

経費内訳

給料	4,245	法定福利費	1,543
手当	2,890	法定福利費引当金繰入額	97
賞与引当金繰入額	552	厚生福利費	18

【特定財源】

受注工事収益	5,506
--------	-------

【概要及び成果】

需要家からの申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工検査を実施するとともに、適切な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。

<主な費用>

職員給与費（営業雑費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
2年度	1人	4,346	2,356	0	1,445	8,147
3年度	1人	4,245	3,442	0	1,640	9,327
比較	0人	△ 101	1,086	0	195	1,180

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
支払利息	48,286	42,370	△ 5,916

経費内訳

企業債利息	42,370
-------	--------

【概要及び成果】

中長期的な経営収支見通しに基づき、内部留保資金を活用し企業債の新規発行を行わないことにより、支払利息額が減少した。

<支払先>

財務省	18,793 千円
地方公共団体金融機構	23,577 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業外費用	1,043	1,018	△ 25
経費内訳			
雑支出	891	固定資産売却損	127
【概要及び成果】			
＜主な費用＞			
雑支出	消費税納税計算に伴う支出		891 千円
固定資産売却損	旧新町整圧器室用地売却損		127 千円

## (2) 資本的収支

単位：千円

(資本的収入) 予算額	決算額	翌年度繰越 財源額	予算額と決 算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳	
				工事負担金	固定資産売却収入
298,661	154,295	50,441	△ 144,366	△ 144,606	240
(資本的支出) 予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	不用額の内訳	
				建設改良費	企業債償還金
1,364,697	1,113,337	100,810	150,550	150,546	4

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

### ①資本的収入

単位：千円

項目	2年度決算	3年度決算	比較
工事負担金	208,071	152,393	△ 55,678

○下水道工事等に伴う移設補償費及び団地開発に伴う導管布設負担金

単位：千円

区分	2年度	3年度	比較
区画整理・団地	30,126	16,369	△ 13,757
一般他工事関連	4,103	13,887	9,784
下水道関連	173,218	121,887	△ 51,331
供給管関連	624	250	△ 374
合計	208,071	152,393	△ 55,678

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
固定資産売却収入	121,569	240	△ 121,329

○土地売却収入

- ・旧新町整圧器室用地 190 千円
- ・旧頸城区西福島整圧器室用地 50 千円

②資本的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比 較
◎ 供給施設更新事業	13,161	11,143	△ 2,018
経費内訳			
土地	2,128	構築物	2,556
建物	4,654	機械装置	1,805
【目的】 老朽化したガス供給施設の更新を行い、安全で安定した供給を図る。			
【概要及び成果】 供給停止による二次災害の防止及び早期復旧を目的としたガス管網ブロック化計画に基づいて、整圧器室1基を新設し管網の構築を図った。			
＜主な費用＞			
土地	中田原整圧器室築造用地取得費（106.94㎡）		2,128 千円
建物	中田原整圧器室築造工事		4,654 千円
導管本支管	中田原整圧器購入費		1,805 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
設 計 業 務	8,533	6,594	△ 1,939
経費内訳			
導管本支管	6,594		
【目的】			
ガス本支管工事の設計を行い、設計図及び設計書を作成する。			
【概要及び成果】			
CAD設計積算システムを使用して設計積算を行うとともに、設計業務の一部について委託により実施した。			
＜主な費用＞			
導管本支管	本支管工事設計業務委託料	4,288	千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
そ の 他 建 設 改 良 費	1,657,384	1,031,901	△ 625,483
経費内訳			
工具器具備品	10,557	導管供給管	135,569
ガスメーター	8,759	ソフトウェア	250
導管本支管	549,211	企業債償還金	327,555
【特定財源】			
工事負担金	152,393		
【概要及び成果】			
＜主な費用＞			
職員給与費（設計監督業務に係る職員分）			単位：千円
	職員数	給 料	手 当
			退職給付費
			法定福利費
			合 計
2年度	10人	37,628	24,675
			0
			12,686
			74,989
3年度	10人	38,368	23,670
			0
			12,969
			75,007
比 較	0人	740	△ 1,005
			0
			283
			18
工具器具備品	事務用パソコン更新	2,594	千円
	ファイルサーバ更新	2,000	千円
導管本支管	下水道関連工事など導管本支管工事費	491,370	千円
	布設延長 L=5,154m		
企業債償還金	財務省	136,809	千円
	地方公共団体金融機構	190,746	千円

#### 4 第2次ガス事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
白ガス灯外内管 残存率	%	10.1	9.6	△ 0.5	↑	灯外内管に白ガス管を使用した建物の建替や解体に伴い、白ガス灯外内管需要家の件数が減少したことから計画値を上回った。
職員資格取得度	件/人	1.89	2.30	0.41	↑	職員へ資格取得を奨励するとともに、ガス水道技術の向上に寄与する技術資格取得に係る助成措置を継続して実施したことから計画値を上回った。
家庭用選択契約 獲得件数	件	100	54	△ 46	↓	コロナ禍の影響によりイベントの中止やガス機器の納期遅延等で設置台数が減少したことから計画値を下回った。
家庭用1戸1月当たり ガス販売量	m <sup>3</sup> /件	37.0	34.9	△ 2.1	↓	平均気温が平年値に比べ高く推移したことにより給湯需要が減少したことから計画値を下回った。
大口契約、業務用 選択契約獲得件数	件	4	2	△ 2	↓	コロナ禍の影響により新規需要家獲得に向けた営業活動が縮小したこと、また重油等の油燃料を使用する企業については、おおむね燃転が完了していることから計画値を下回った。

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
損益勘定所属職員 1人当たりガス販売量	千m <sup>3</sup> /人	1,575	1,631	56	↑	計画に対して、一般契約及び大口契約の需要が増加し、ガス販売量が増加したことから計画値を上回った。
経常収支比率	%	105.6	106.8	1.2	↑	計画に対して、撤去工事の減による固定資産除却費の減少及び管路及び施設などの修繕費が減少したことから計画値を上回った。
ガス売上に対する 企業債利息割合	%	0.8	0.8	0.0	→	—
ガス売上に対する 企業債残高割合	%	41.9	41.5	△ 0.4	↑	企業債残高は計画どおり推移しており、ガス売上が液化天然ガス輸入価格の上昇により増加したことから計画値を上回った。
収納率	%	99.5	99.6	0.1	↑	口座振替を推進するなど現年度分料金の確実な納付を促すほか、分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施したことから計画値を上回った。

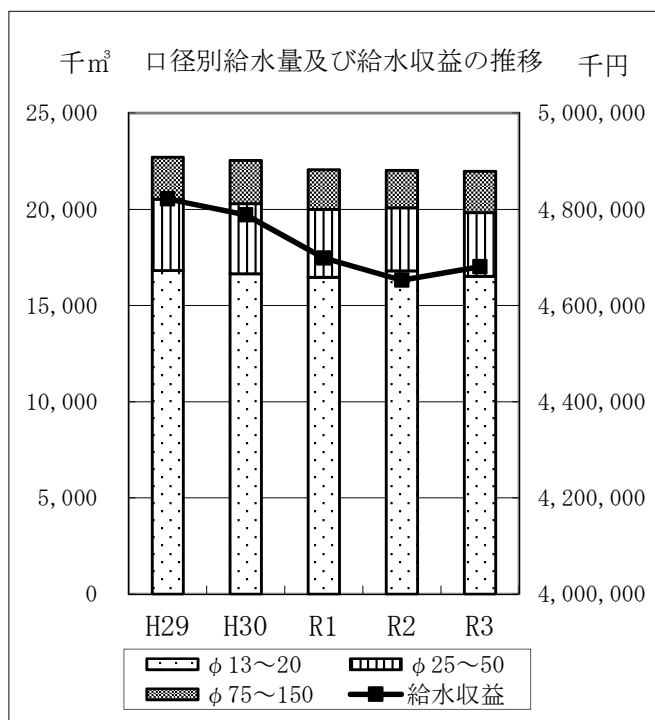
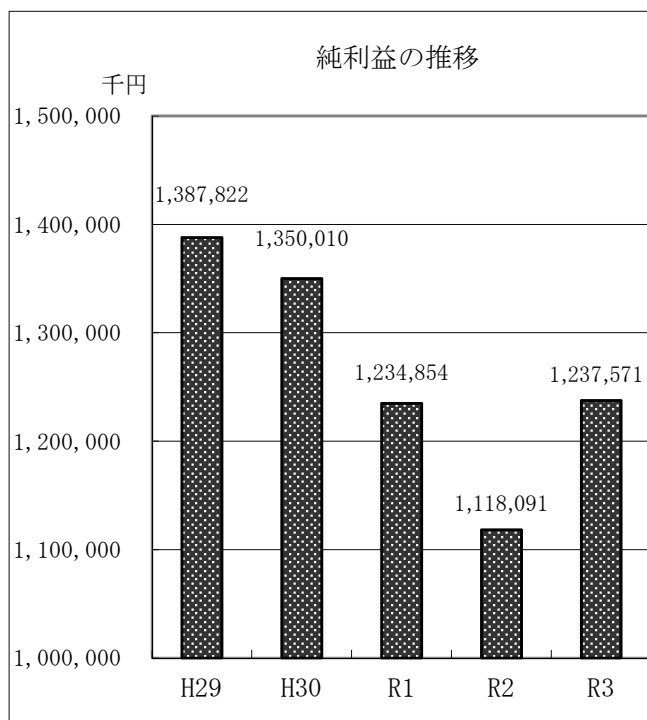
※計画対比： ↑ 計画を上回っている

↓ 計画を下回っている

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第82号
提出課	経営企画課

## 令和3年度上越市水道事業会計決算の概要

- 有収水量は、コロナ禍からの社会経済活動の再開により、工業用が14.4万 $\text{m}^3$  (9.4%)、官庁・学校用が5.4万 $\text{m}^3$  (3.0%) 増加した一方で、家庭用が27.9万 $\text{m}^3$  (1.7%) 減少したことなどから、全体では、前年度に比べ4.0万 $\text{m}^3$  (0.2%) の減少となった。
- 収益的収支では、有収水量が減少となったものの、工業用など中口径の使用量の増加により給水収益は2,799万円 (0.6%) 増加した一方で、広域施設の長期前受金戻入は法定耐用年数の経過により1,727万円 (6.9%) 減少となった。支出では、広域施設の水管橋の漏水などにより修繕費が3,982万円 (185.7%) 増加した一方で、広域施設の法定耐用年数の経過に伴い減価償却費が9,283万円 (12.8%)、企業債新規借入れの抑制に伴い支払利息が1,975万円 (8.4%)それぞれ減少した結果、当年度純利益は前年度に比べ1億1,948万円 (10.7%) 増の12億3,757万円となった。
- 資本的収支では、国の交付金事業を活用し、地震災害等における断水被害の影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に進めた結果、基幹管路耐震適合率は38.4%となった。  
また、城山浄水場大規模改修事業の実施に向け、設計及び改修工事を一括して行う事業者を決定するとともに、渇水時などの水源である和田浄水場計装設備更新工事を行ったほか、正善寺浄水場の脱水機分解点検の実施により安定供給の確保に努めた。





## 1 業務の概要

◇有収水量は、コロナ禍からの社会経済活動の再開により、工業用及び商業用は増加した一方で家庭用などは減少し、前年度に比べ4.0万m<sup>3</sup>（0.2%）減少した。

### （水道事業）

区 分			29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
								増減数	増減率
1	行政区域内人口	人	194,132	192,068	190,042	188,382	185,892	△ 2,490	△ 1.3%
2	給水区域内人口	人	194,131	192,083	190,061	188,405	185,915	△ 2,490	△ 1.3%
3	給水人口	人	194,096	192,040	190,033	188,378	185,889	△ 2,489	△ 1.3%
4	給水戸数	戸	84,935	85,173	85,790	86,010	86,475	465	0.5%
5	普及率	%	99.98	99.98	99.99	99.99	99.99	0.00	-
6	施設能力	m <sup>3</sup> /日	141,551.6	137,141.0	135,661.0	135,661.0	135,661.0	0.0	0.0%
7	年間配水量	m <sup>3</sup>	24,682,088	24,253,747	23,407,866	23,458,589	23,363,780	△ 94,809	△ 0.4%
8	年間有収水量	m <sup>3</sup>	22,706,881	22,536,311	22,058,531	22,017,846	21,977,554	△ 40,292	△ 0.2%
9	一日最大配水量 (一日最大月日)	m <sup>3</sup>	79,311 (1/29)	79,693 (7/24)	74,089 (8/14)	70,633 (9/3)	71,342 (8/5)	709	1.0%
10	一日平均配水量	m <sup>3</sup>	67,622	66,449	63,956	64,270	64,010	△ 260	△ 0.4%
11	一日平均有収水量	m <sup>3</sup>	62,211	61,743	60,269	60,323	60,212	△ 111	△ 0.2%
12	有収率	%	92.00	92.92	94.24	93.86	94.07	0.21	-
13	職員数	人	85	85	85	83	84	1	1.2%

### （用水供給事業）

区 分			29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
								増減数	増減率
1	施設能力	m <sup>3</sup> /日	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060	0	0.0%
2	年間配水量	m <sup>3</sup>	769,016	752,478	730,950	806,455	788,705	△ 17,750	△ 2.2%
3	年間有収水量	m <sup>3</sup>	769,016	752,478	730,950	806,455	788,705	△ 17,750	△ 2.2%
4	一日最大配水量 (一日最大月日)	m <sup>3</sup>	2,816 (1/30)	2,606 (7/24)	2,533 (9/5)	2,868 (6/23)	3,365 (1/8)	497	17.3%
5	一日平均配水量	m <sup>3</sup>	2,107	2,062	1,997	2,209	2,161	△ 48	△ 2.2%
6	一日平均有収水量	m <sup>3</sup>	2,107	2,062	1,997	2,209	2,161	△ 48	△ 2.2%
7	有収率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	-

## 2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

### (1) 収益的収支

単位：千円

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収	営業収益	4,821,460	4,788,191	4,698,294	4,652,565	4,680,563	27,998	0.6%
	給水収益	4,821,460	4,788,191	4,698,294	4,652,565	4,680,563	27,998	0.6%
	営業雑収益	11,980	12,694	14,677	12,825	12,052	△ 773	△ 6.0%
	営業外収益	1,613,509	1,639,272	1,613,724	1,502,611	1,483,697	△ 18,914	△ 1.3%
	繰入金	139,736	136,984	127,398	60,465	57,760	△ 2,705	△ 4.5%
	加入金	51,790	50,640	58,784	48,068	42,686	△ 5,382	△ 11.2%
	長期前受金戻 の他収益	1,059,482	1,093,409	1,085,721	1,058,190	1,058,746	556	0.1%
	その 営業外収益	81,477	89,696	82,225	84,283	89,715	5,432	6.4%
	広域施設 営業外収益	281,024	268,543	259,596	251,605	234,790	△ 16,815	△ 6.7%
	用水供給事業収益	91,292	89,780	88,623	92,369	89,577	△ 2,792	△ 3.0%
入	用水供給 営業収益	75,565	74,752	74,095	78,288	76,436	△ 1,852	△ 2.4%
	用水供給 営業外収益	15,727	15,028	14,528	14,081	13,141	△ 940	△ 6.7%
	特別利益	410	12	4,226	0	181	181	皆増
収入計	6,538,651	6,529,949	6,419,544	6,260,370	6,266,070	5,700	0.1%	
支	営業費用	4,718,503	4,764,875	4,814,033	4,799,853	4,709,963	△ 89,890	△ 1.9%
	職員給与費	488,403	492,875	530,815	543,041	524,569	△ 18,472	△ 3.4%
	(うち退職給付費)	(9,671)	(11,028)	(41,255)	(42,118)	(37,823)	(△ 4,295)	(△ 10.2%)
	修繕費	171,517	152,983	138,882	154,179	175,391	21,212	13.8%
	動力費	89,941	96,406	84,327	77,102	79,155	2,053	2.7%
	薬品費	15,592	15,664	16,823	18,515	15,628	△ 2,887	△ 15.6%
	委託料	263,175	264,648	259,735	285,086	284,608	△ 478	△ 0.2%
	共同施設 管理分担費	19,417	38,576	51,317	36,069	30,264	△ 5,805	△ 16.1%
	減価償却費	2,277,494	2,264,945	2,268,135	2,277,903	2,268,202	△ 9,701	△ 0.4%
	広域施設 営業費用	1,107,038	1,070,460	1,086,934	1,015,700	978,476	△ 37,224	△ 3.7%
	その 営業費用	285,926	368,318	377,065	392,258	353,670	△ 38,588	△ 9.8%
	営業雑費用	10,225	11,294	9,960	9,309	9,850	541	5.8%
	出	営業外費用	357,022	326,916	297,468	274,139	252,129	△ 22,010
支払利息		292,973	274,115	254,526	234,959	215,202	△ 19,757	△ 8.4%
その 営業外費用		14,196	7,235	1,703	2,284	4,444	2,160	94.6%
広域施設 営業外費用		49,853	45,566	41,239	36,896	32,483	△ 4,413	△ 12.0%

区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
							増減数	増減率
支 出	用水供給事業費用	64,770	62,480	63,160	58,920	56,557	△ 2,363	△ 4.0%
	用水供給費用	61,978	59,930	60,852	56,853	54,739	△ 2,114	△ 3.7%
	用水供給費用	2,790	2,550	2,308	2,065	1,818	△ 247	△ 12.0%
	用水供給費用	2	0	0	2	0	△ 2	皆減
	特別損失	309	14,374	69	58	0	△ 58	皆減
支 出 計		5,150,829	5,179,939	5,184,690	5,142,279	5,028,499	△ 113,780	△ 2.2%
収支差引（純損益）		1,387,822	1,350,010	1,234,854	1,118,091	1,237,571	119,480	10.7%

## （2）資本の収支

単位：千円

区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
							増減数	増減率
収 入	企 業 債	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0.0%
	補 助 金	170,215	194,934	242,988	229,046	171,787	△ 57,259	△ 25.0%
	工 事 負 担 金	313,355	374,562	376,938	417,561	346,103	△ 71,458	△ 17.1%
	繰 入 金	117,116	112,380	110,705	112,901	116,722	3,821	3.4%
	繰 入 金	109,582	108,730	108,423	112,901	116,722	3,821	3.4%
	広域施設 繰入金	7,534	3,650	2,282	0	0	0	0.0%
	固 定 資 産 入 用 水 給 入	120	10,537	310	94,930	49	△ 94,881	△ 99.9%
	水の供給 用給入	423	204	128	2	0	△ 2	皆減
	水の供給 用給入	422	204	128	0	0	0	0.0%
	水の供給 用給入	1	0	0	2	0	△ 2	皆減
収 入 計		801,229	892,617	931,069	1,054,440	834,661	△ 219,779	△ 20.8%

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
支	建設改良費	2,188,771	2,262,569	2,320,728	2,672,288	2,354,390	△ 317,898	△ 11.9%
	(うち職員給与費)	(93,169)	(91,349)	(87,886)	(92,954)	(92,954)	(0)	(0.0%)
	土地	0	0	973	3,927	617	△ 3,310	△ 84.3%
	建物	6,188	43,409	83,597	511,447	10,007	△ 501,440	△ 98.0%
	構築物	163,761	255,579	90,994	32,043	110,515	78,472	244.9%
	機械装置	60,314	112,414	58,709	229,567	177,722	△ 51,845	△ 22.6%
	車両運搬具	10,297	2,347	6,746	542	2,541	1,999	368.8%
	工具器具備品	23,701	3,877	6,750	22,961	16,088	△ 6,873	△ 29.9%
	水道メーター	3,942	3,798	4,048	3,487	3,046	△ 441	△ 12.6%
	導管本支管	1,552,642	1,497,574	1,743,985	1,582,727	1,710,926	128,199	8.1%
	導管給水管	276,296	287,742	289,853	268,386	266,820	△ 1,566	△ 0.6%
	導水管	42,797	15,929	3,343	8,460	0	△ 8,460	皆減
	ソフトウェア	2,370	30,618	24,736	0	3,190	3,190	皆増
広域施設設備	46,463	9,282	6,994	8,741	52,918	44,177	505.4%	
出	企業債償還金	1,077,757	1,076,928	1,090,757	1,111,893	1,133,295	21,402	1.9%
	企業債償還金	881,186	891,198	903,382	920,187	937,132	16,945	1.8%
	広域施設 企業債償還金	196,571	185,730	187,375	191,706	196,163	4,457	2.3%
	用水供給 本的支出	13,601	10,914	10,879	11,218	13,940	2,722	24.3%
	用水供給 建設改良費	2,600	519	392	489	2,962	2,473	505.7%
	用水供給 企業債償還金	11,001	10,395	10,487	10,729	10,978	249	2.3%
支出計	3,280,129	3,350,411	3,422,364	3,795,399	3,501,625	△ 293,774	△ 7.7%	
差引不足額	2,478,900	2,457,794	2,491,295	2,740,959	2,666,964	△ 73,995	△ 2.7%	
	(2,514,252)	(2,501,194)	(2,542,083)	(2,791,021)	(2,708,993)	(△ 82,028)	(△ 2.9%)	
補填財源	過年度分損益勘定 留保資金	303,056	161	125,924	144,463	159,696	15,233	10.5%
	当年度分損益勘定 留保資金	1,888,196	1,804,033	1,808,159	1,749,558	1,687,297	△ 62,261	△ 3.6%
	減債積立金	97,000	286,000	249,000	341,000	345,000	4,000	1.2%
	建設改良積立金	226,000	411,000	359,000	556,000	517,000	△ 39,000	△ 7.0%
	計	2,514,252	2,501,194	2,542,083	2,791,021	2,708,993	△ 82,028	△ 2.9%
企業債残高	16,661,764	15,774,441	14,873,198	13,950,576	13,006,302	△ 944,274	△ 6.8%	

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

# 令和3年度決算の状況

【税抜：万円未満省略】

## 収益的収支

収入：62億6,607万円

水道料金収入 46億8,056万円
長期前受金戻入 13億483万円
その他の収入 2億8,068万円

支出：50億2,850万円

人件費 6億1,209万円
修繕費 2億4,030万円
動力・薬品費 1億6,529万円
委託料等 5億7,078万円
支払利息 2億4,940万円
減価償却費等 31億9,064万円
収支差引額（利益） 12億3,757万円

## 資本的収支

収入：8億3,466万円

企業債 2億円
補助金 1億7,179万円
工事負担金 3億4,610万円
繰入金 1億1,672万円
固定資産売却収入 5万円
収支不足額 26億6,696万円

支出：35億162万円

建設改良費 23億5,735万円
企業債償還金 11億4,427万円

項目	留保資金等	補填額※2
① 過年度分 損益勘定留保資金	1億5,969万円	1億5,969万円
② 当年度分 損益勘定留保資金※1	18億5,537万円	16億4,527万円
③ 積立金等	113億901万円	8億6,200万円
計	133億2,407万円	26億6,696万円

※1 減価償却費等から長期前受金戻入分の金額を除いた額

※2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補填する。

### 3 決算主要項目の内容

#### (1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予 算 額	決 算 額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳					
			営業収益	営業雑収益	営業外収益	用水供給事業収益	特別利益	
6,662,465	6,752,297	89,832	85,145	651	2,074	1,764	198	
(収益的支出) 予 算 額	決 算 額	不 用 額	不 用 額 の 内 訳					
			営業費用	営業雑費用	営業外費用	用水供給事業費用	特別損失	予備費
5,461,655	5,341,400	120,255	116,898	522	38	1,746	51	1,000

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額のため、上表の金額とは異なる

#### ①収益的収入

◇有収水量は前年度比4万 $m^3$  (0.2%) 減少となったものの、工業用など中口径の使用量が増加したことにより、給水収益は0.6%増加となった。

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
給 水 収 益	4,652,565	4,680,563	27,998

#### ○水道口径別使用量・料金実績

##### 1) 戸数

単位：戸；件

口径別	2年度		3年度		増 減		増 減 率		構 成 比	
	年度末 戸 数	年 間 延 件 数	年度末 戸 数	年 間 延 件 数	年度末 戸 数	年 間 延 件 数	年度末 戸 数	年 間 延 件 数	年度末戸数	
									2年度	3年度
13mm	46,654	564,908	46,465	563,591	△ 189	△ 1,317	△0.4%	△0.2%	54.3%	53.7%
20mm	36,326	434,218	36,967	441,217	641	6,999	1.8%	1.6%	42.2%	42.8%
25mm	1,927	23,214	1,940	23,342	13	128	0.7%	0.6%	2.3%	2.3%
30mm	334	4,029	341	4,066	7	37	2.1%	0.9%	0.4%	0.4%
40mm	460	5,598	465	5,578	5	△ 20	1.1%	△0.4%	0.5%	0.5%
50mm	188	2,245	179	2,199	△ 9	△ 46	△4.8%	△2.0%	0.2%	0.2%
75mm	113	1,364	111	1,368	△ 2	4	△1.8%	0.3%	0.1%	0.1%
100mm	4	48	3	42	△ 1	△ 6	△25.0%	△12.5%	0.0%	0.0%
150mm	4	48	4	48	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	86,010	1,035,672	86,475	1,041,451	465	5,779	0.5%	0.6%	100.0%	100.0%

##### 2) 使用量

単位： $m^3$

口径別	使 用 量		増 減	増減率	構 成 比		1 か 月 1 戸 当 たり 使 用 量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
13mm	7,698,139	7,464,996	△ 233,143	△3.0%	35.0%	34.0%	13.6	13.2	△2.9%
20mm	9,106,680	9,046,005	△ 60,675	△0.7%	41.3%	41.2%	21.0	20.5	△2.4%
25mm	843,886	839,402	△ 4,484	△0.5%	3.8%	3.8%	36.4	36.0	△1.1%
30mm	416,970	419,211	2,241	0.5%	1.9%	1.9%	103.5	103.1	△0.4%
40mm	1,075,032	1,095,540	20,508	1.9%	4.9%	5.0%	192.0	196.4	2.3%
50mm	928,308	956,849	28,541	3.1%	4.2%	4.3%	413.5	435.1	5.2%
75mm	1,740,552	1,967,290	226,738	13.0%	7.9%	8.9%	1,276.1	1,438.1	12.7%
100mm	59,158	57,155	△ 2,003	△3.4%	0.3%	0.3%	1,232.5	1,360.8	10.4%
150mm	149,121	131,106	△ 18,015	△12.1%	0.7%	0.6%	3,106.7	2,731.4	△12.1%
合 計	22,017,846	21,977,554	△ 40,292	△0.2%	100.0%	100.0%	21.3	21.1	△0.9%

## 3) 料金

単位：円

口径別	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 料		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
13mm	1,318,644,404	1,283,781,695	△ 34,862,709	△2.6%	28.3%	27.4%	2,334	2,278	△2.4%
20mm	1,865,768,564	1,864,794,328	△ 974,236	△0.1%	40.1%	39.9%	4,297	4,226	△1.7%
25mm	177,543,756	178,528,876	985,120	0.6%	3.8%	3.8%	7,648	7,648	0.0%
30mm	100,194,666	101,066,247	871,581	0.9%	2.1%	2.2%	24,868	24,856	△0.0%
40mm	361,645,569	371,329,645	9,684,076	2.7%	7.8%	7.9%	64,603	66,570	3.0%
50mm	316,408,933	324,099,802	7,690,869	2.4%	6.8%	6.9%	140,939	147,385	4.6%
75mm	454,358,770	503,076,078	48,717,308	10.7%	9.8%	10.8%	333,108	367,746	10.4%
100mm	21,320,032	20,077,482	△ 1,242,550	△5.8%	0.5%	0.4%	444,167	478,035	7.6%
150mm	36,680,072	33,808,618	△ 2,871,454	△7.8%	0.8%	0.7%	764,168	704,346	△7.8%
合 計	4,652,564,766	4,680,562,771	27,998,005	0.6%	100.0%	100.0%	4,492	4,494	0.0%

## ○水道用途区分別使用量・料金実績

## 1) 戸数

単位：戸；件

用途区分	2年度		3年度		増 減		増 減 率		構 成 比	
	年度末戸数	年 間延件数	年度末戸数	年 間延件数	年度末戸数	年 間延件数	年度末戸数	年 間延件数	年度末戸数	
									2年度	3年度
家 庭 用	78,900	948,950	79,361	955,090	461	6,140	0.6%	0.6%	91.8%	91.8%
工 業 用	274	3,310	275	3,307	1	△ 3	0.4%	△0.1%	0.3%	0.3%
商 業 用	5,008	60,597	4,988	60,210	△ 20	△ 387	△0.4%	△0.6%	5.8%	5.8%
官庁・学校用	1,822	22,743	1,845	22,772	23	29	1.3%	0.1%	2.1%	2.1%
船 舶 用	4	48	4	48	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
そ の 他	2	24	2	24	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	86,010	1,035,672	86,475	1,041,451	465	5,779	0.5%	0.6%	100.0%	100.0%

## 2) 使用量

単位：m<sup>3</sup>

用途区分	使 用 量		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家 庭 用	16,468,187	16,188,240	△ 279,947	△1.7%	74.8%	73.6%	17.4	16.9	△2.9%
工 業 用	1,540,072	1,684,830	144,758	9.4%	7.0%	7.7%	465.3	509.5	9.5%
商 業 用	2,133,763	2,164,101	30,338	1.4%	9.7%	9.8%	35.2	35.9	2.0%
官庁・学校用	1,826,179	1,881,166	54,987	3.0%	8.3%	8.6%	80.3	82.6	2.9%
船 舶 用	15,757	22,237	6,480	41.1%	0.1%	0.1%	328.3	463.3	41.1%
そ の 他	33,888	36,980	3,092	9.1%	0.1%	0.2%	1,412.0	1,540.8	9.1%
合 計	22,017,846	21,977,554	△ 40,292	△0.2%	100.0%	100.0%	21.3	21.1	△0.9%

## 3) 料金

単位：円

用途区分	料 金		増 減	増減率	構 成 比		1 か月 1 戸 当 たり 使 用 料		
	2年度	3年度			2年度	3年度	2年度	3年度	増減率
家 庭 用	3,110,110,591	3,072,453,228	△ 37,657,363	△1.2%	66.8%	65.7%	3,277	3,217	△1.8%
工 業 用	383,531,076	413,762,877	30,231,801	7.9%	8.2%	8.8%	115,870	125,117	8.0%
商 業 用	584,420,160	604,569,306	20,149,146	3.4%	12.6%	12.9%	9,644	10,041	4.1%
官庁・学校用	568,120,617	581,631,034	13,510,417	2.4%	12.2%	12.4%	24,980	25,541	2.2%
船 舶 用	4,121,202	5,670,986	1,549,784	37.6%	0.1%	0.1%	85,858	118,146	37.6%
そ の 他	2,261,120	2,475,340	214,220	9.5%	0.1%	0.1%	94,213	103,139	9.5%
合 計	4,652,564,766	4,680,562,771	27,998,005	0.6%	100.0%	100.0%	4,492	4,494	0.0%

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
営 業 雑 収 益	12,825	12,052	△ 773

○年度末給水戸数 86,475 戸

令和3年度実績

受注工事収益（修繕） 1,287 千円

その他営業雑収益（設計審査手数料等） 10,765 千円

単位：件

	新設工事	改造工事	撤去工事	その他	合 計
2年度	633	539	272	81	1,525
3年度	676	513	397	83	1,669
比 較	43	△ 26	125	2	144



単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
営 業 外 収 益	1,502,611	1,483,697	△ 18,914

○加入金実績

単位：個；千円

	2年度		3年度		比 較	
取付水道メーター	907	39,204	739	34,128	△ 168	△ 5,076
口径変更による差額	162	8,864	169	8,558	7	△ 306
計	1,069	48,068	908	42,686	△ 161	△ 5,382

○その他営業外収益

単位：千円

		2年度	3年度	比 較
受 取 利 息	預金利息	2,760	126	△ 2,634
	貸付金利息	1,088	223	△ 865
	小 計	3,848	349	△ 3,499
繰 入 金	児童手当	7,104	6,298	△ 806
	高料金対策	21,797	22,373	576
	統合水道	4,067	3,694	△ 373
	建設改良に要する経費	27,497	25,395	△ 2,102
	小 計	60,465	57,760	△ 2,705
長期前受金戻入	長期前受補助金戻入	213,821	207,597	△ 6,224
	長期前受工事負担金戻入	705,583	709,766	4,183
	長期前受受贈財産評価額戻入	15,446	15,672	226
	長期前受繰入金戻入	123,140	125,511	2,371
	長期前受寄附金戻入	200	200	0
	小 計	1,058,190	1,058,746	556
雑 収 益	貸付料	2,905	1,153	△ 1,752
	下水等受託収益	61,093	62,662	1,569
	補償修繕収益	3,124	2,794	△ 330
	消火栓維持管理費	10,830	18,753	7,923
	脱水ケーキ売却代	149	117	△ 32
	原子力立地給付金	1,234	1,215	△ 19
	原発事故損害賠償金	183	185	2
	不用品売却収益	254	1,523	1,269
その他(還付金等)	663	964	301	
	小 計	80,435	89,366	8,931
広 域 施 設 営 業 外 収 益	児童手当繰入金	483	852	369
	貸付料	106	185	79
	脱水ケーキ売却代	78	56	△ 22
	原子力立地給付金	618	654	36
	長期前受金戻入	250,320	233,043	△ 17,277
	小 計	251,605	234,790	△ 16,815
	合 計	1,454,543	1,441,011	△ 13,532

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
用水供給営業収益 (給水収益)	78,288	76,436	△ 1,852

○令和3年度年間有収水量 788,705m<sup>3</sup> (令和2年度 806,455m<sup>3</sup>)

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
用水供給営業外収益	14,081	13,141	△ 940

○用水供給営業外収益の内訳

単位：千円

	2年度	3年度	比 較
児童手当繰入金	27	48	21
貸付料	6	10	4
脱水ケーキ売却代	4	4	0
原子力立地給付金	35	37	2
長期前受金戻入	14,009	13,042	△ 967
計	14,081	13,141	△ 940

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
特 別 利 益 (用水供給特別利益を含む)	0	181	181

○車両売却益

181 千円

・車両入替に伴う売却益

②収益的支出（中期経営計画主要事業は事業名に◎印）

◇広域施設の法定耐用年数の経過に伴い減価償却費等が減少したことから収益的支出全体で2.2%減少

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
浄水場運転管理業務	295,741	294,858	△ 883
経費内訳			
報酬	1,722	光熱燃料費	3,624
法定福利費	238	通信運搬費	7,030
備用品費	3,151	委託料	178,893
旅費交通費	32	手数料	777
動力費	71,669	薬品費	27,722
【目的】			
安定給水を継続するため、浄水場の適正な運転管理を行う。			
【概要及び成果】			
浄水処理量や水源水質に対応した薬品管理など、適正かつ効率的な運転管理により、安全で安定した水づくりを行った。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 1人		1,319 千円
動力費	各水源及び浄水場動力費		71,669 千円
委託料	浄水場運転管理業務委託料		168,500 千円
	電気保安業務委託料		1,425 千円
薬品費	次亜塩素酸ナトリウム等購入費		27,722 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
浄水施設維持管理業務	98,394	73,634	△ 24,760
経費内訳			
備用品費	93	委託料	8,312
修繕費	55,343	手数料	544
光熱燃料費	541	租税課金	10
賃借料	333	雑費	5,328
保険料	2,157	固定資産除却費	945
通信運搬費	28		
【目的】			
設備の点検整備を計画的に行うことで施設の長寿命化を図る。			
【概要及び成果】			
故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、設備の長寿命化を図る。			
令和3年度は廃止施設の解体撤去工事がなかったことから、令和2年度に比べ事業費は減少した。			
＜主な費用＞			
修繕費	城山浄水場No.1 P A C 注入ポンプ取替工事		1,700 千円
	正善寺浄水場No.2進相コンデンサ盤取替工事		5,650 千円
	柿崎川浄水場沈澱池汚泥掻寄機修繕工事		10,200 千円
	清里区青柳浄水場ろ過池砂入替工事		2,932 千円
	浄水場設備等緊急修繕工事		15,988 千円
委託料	浄水施設維持管理業務委託料		8,312 千円
雑費	水源かん養助成金		3,054 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 水 質 検 査 業 務	44,242	44,348	106
経費内訳			
備用品費	372	委託料	5,243
修繕費	62	手数料	38,044
光熱燃料費	93	租税課金	5
保険料	24	薬品費	505
【目的】			
安全な水道水を給水するため、水道法に基づく水質検査を実施する。			
【概要及び成果】			
法律に基づく水質検査や、市独自の検査項目について水質検査を実施した。			
＜主な費用＞			
委託料	管末毎日水質検査委託料	5,084 千円	
手数料	水質検査等手数料	38,044 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 水 源 か ん 養 業 務	732	1,370	638
経費内訳			
雑費	1,370		
【目的】			
水道水源の水質汚濁を防止し、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に給水できる水源を確保する。			
【概要及び成果】			
水源保護の啓発パンフレットの配布や、水源保護地域における啓発看板の設置等により、水源保護の大切さを市民に周知した。			
＜主な費用＞			
雑費	水源保護啓発看板設置（4か所）	800 千円	
	啓発パンフレットの作成	52 千円	
	植樹木（中ノ俣・後谷）保育作業業務委託料	472 千円	
【課題及び今後の方向性】			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           水道水源保護に対する市民の意識を醸成するには継続した啓発が必要であり、看板の設置など引き続き実施していく。         </div>			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
共同施設管理業務	54,458	51,785	△ 2,673
経費内訳			
共同施設管理分担費	51,642	ダム使用料	143
【目的】			
ダム施設を適正に維持管理し修繕工事を行うことで、正常な機能を維持する。			
【概要及び成果】			
新潟県が管理する後谷ダム、正善寺ダム及び柿崎川ダムの維持管理費及び運営費について、県との協定に基づく割合に応じて費用を負担する。			
修繕工事の減少により事業費が減少した。			
＜協定における負担割合＞			
【後谷ダム】	新潟県 68.9%	上越市 31.1%	
【正善寺ダム】	新潟県 58.8%	上越市 41.2%	
【柿崎川ダム】	新潟県 82.5%	上越市 17.5%	
＜主な費用＞			
	共同施設管理分担費	51,642 千円	
	ダム使用料（正善寺川河川流水占用料）	143 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
配水施設維持管理業務	174,883	172,275	△ 2,608

経費内訳

報酬	6,078	賃借料	2,387
手当	500	保険料	683
法定福利費	1,007	通信運搬費	11,476
備用品費	1,555	委託料	23,311
旅費交通費	273	手数料	800
修繕費	23,545	租税課金	176
動力費	65,389	固定資産除却費	29,490
光熱燃料費	5,605		

【目的】

安全で安定した給水を行うため、配水施設の点検整備等を行い設備の長寿命化を図る。

【概要及び成果】

故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、設備の長寿命化を図った。

<主な費用>

修繕費	藤新田計装設備等点検調整	950 千円
	中郷区福崎減圧槽水位調整弁分解整備業務委託料	1,420 千円
	残留塩素計点検整備	4,290 千円
動力費	ポンプ場等配水動力費	65,389 千円
委託料	維持管理業務委託料	6,877 千円
	五智配水池撤去に係る地質調査業務委託料	5,311 千円
固定資産除却費	導管本支管撤去工事	21,066 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
水道管修繕業務	102,741	148,314	45,573
経費内訳			
報酬	1,319	光熱燃料費	975
手当	143	保険料	301
法定福利費	236	手数料	72
備用品費	229	印刷製本費	21
旅費交通費	32	租税課金	150
修繕費	144,836		
【特定財源】			
その他雑収益	21,546		
【目的】			
水道管の漏水及び給水に係る事故の未然防止と拡大防止を図る。			
【概要及び成果】			
水道管の漏水や急を要する他工事に係る支障物件の移転に迅速に対応し、安定給水の継続を図った。			
本支管・給水管修理件数 148件（令和2年度 170件）			
＜主な費用＞			
修繕費	責任修繕工事費	79,358 千円	
	責任修繕工事舗装本復旧費	16,732 千円	
	補償修繕工事費	15,542 千円	
	広域施設送水管修繕工事費	23,146 千円	



単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
水道メーター取替業務	43,111	45,892	2,781
経費内訳			
報酬	1,319	光熱燃料費	77
手当	93	保険料	26
法定福利費	231	通信運搬費	583
備用品費	16	委託料	27,703
旅費交通費	81	印刷製本費	132
修繕費	15,631		
【目的】			
計量法に基づき検定満期を迎えた水道メーターを取り替える。			
【概要及び成果】			
検定満期を迎える水道メーターを計画的に取り替えた。			
＜主な費用＞			
修繕費	取替用水道メーター	15,510 千円	
	(取替数10,898個、対前年度比366個の減)		
委託料	取替業務委託料	27,703 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
受注工事業務	2,163	2,483	320
経費内訳			
備用品費	215	賃借料	402
修繕費	269	委託料	1,597
【特定財源】 受注工事収益	1,287		
【目的】 安全で安定した給水を行うための給水装置工事の施工に係る管理を行う。			
【概要及び成果】 需要家からの申込みによる給水装置工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。			
＜主な費用＞			
賃借料	工事受付システムリース料	402 千円	
委託料	工事受付システム維持管理費	1,597 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 漏水調査業務	1,820	2,220	400
経費内訳			
委託料	2,220		
【目的】 漏水調査により、突発的な断・減水などの事故を未然に防ぐとともに、有収率の維持向上を図る。また、施設の運転負荷を軽減し経費の削減を図る。			
【概要及び成果】 水道使用量の検針時に合わせて漏水調査を実施し、42件の漏水の発見・修理を行うことにより有収率の向上を図った。			
＜主な費用＞			
委託料	戸別音聴調査業務委託料 (実施件数22,342戸、対前年度比4,138戸の増)	2,220 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
貯水槽水道・専用水道管理業務	30	27	△ 3
経費内訳			
通信運搬費	27		
【目的】			
貯水槽給水施設の管理基準を定めることにより、衛生的で安全な飲料水の給水を確保し、公衆衛生の向上を図る。			
【概要及び成果】			
貯水槽給水施設の設置届の受理、施設の変更又は廃止届の受理、維持管理状況の確認を行った。また、不適事項や要改善事項があった場合は、設置者に対して指導を行った。			
＜主な費用＞			
通信運搬費	周知チラシ郵送料（464件）	27	千円
＜件数＞			
設置届、廃止届、施設の変更		17	件
指導、助言		26	件

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
マッピングシステム整備業務	7,984	8,502	518
経費内訳			
報酬	3,093	旅費交通費	93
手当	321	修繕費	69
法定福利費	554	委託料	4,372
【目的】			
ガス水道管路情報システム（マッピング）の管理を行い、水道施設の維持管理及び将来計画に活用する。			
【概要及び成果】			
工事竣工に伴う水道管情報の修正などを行い、システムを適正に維持管理した。			
＜主な費用＞			
報酬	会計年度任用職員 2人	3,093	千円
委託料	マッピングシステムソフト保守業務委託料	4,372	千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
料金徴収委託業務	145,833	145,183	△ 650
経費内訳			
修繕費	150	委託料	134,968
賃借料	1,895	手数料	132
通信運搬費	8,038		
【特定財源】			
その他雑収益	62,662		
【目的】 民間ノウハウを活用することで、事務効率の向上とお客様サービスの充実を図る。			
【概要及び成果】 民間事業者に包括的な料金徴収業務を委託し、民間のノウハウを活用したことにより、収納率は中期経営計画の計画値99.5%に対し、実績値は99.6%となり、0.1ポイント上回る事ができた。また、令和3年9月から、月の途中で水道の使用を開始又は休止等した場合の固定料金について、使用日数に応じて日割計算とする方法に改めた。			
＜主な費用＞			
賃借料	料金システムリース料	1,895 千円	
通信運搬費	料金納入令書郵送料	8,038 千円	
委託料	料金等徴収業務委託料	123,863 千円	
	料金口座振替及びコンビニ収納手数料	9,299 千円	
	システム改修業務委託料	1,095 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
無線設備管理業務	288	322	34
経費内訳			
修繕費	25	委託料	235
通信運搬費	41	手数料	21
【目的】 漏水対応や災害時などにおける緊急連絡用無線設備を適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 電波法に基づく許可申請及び設備の維持管理を行った。			
＜主な費用＞			
委託料	無線設備定期点検業務委託料	86 千円	
	旧中郷区営業所及び旧南部営業所無線設備廃止業務委託料	149 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
局ネットワーク管理業務	4,171	4,254	83
経費内訳			
備用品費	50	通信運搬費	571
修繕費	23	委託料	3,460
賃借料	150		
【目的】 局のネットワーク、サーバ等について、セキュリティを含め適正に維持管理する。			
【概要及び成果】 局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。			
＜主な費用＞			
委託料	電算処理運用支援業務委託料	2,088 千円	
	局内イントラネット保守業務委託料	1,341 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
入札業務	1,627	1,499	△ 128
経費内訳			
備用品費	42	印刷製本費	4
賃借料	20	負担金及び補助	1,427
委託料	6		
【目的】 建設工事等について、透明性、公平性及び競争性の高い入札を適正かつ円滑に執行する。			
【概要及び成果】 建設工事等を透明性の高い電子入札システムにより執行した。また、ガス水道本支管工事において、制限付き一般競争入札や「一抜け方式」を引き続き実施するなど、公平性及び競争性の確保に努めた。			
＜主な費用＞			
備用品費	電子入札システム用ICカード購入費	28 千円	
負担金及び補助	電子入札システム使用負担金	1,404 千円	

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
庁舎維持管理業務	31,323	8,380	△ 22,943
経費内訳			
備用品費	121	通信運搬費	367
修繕費	88	委託料	3,931
光熱燃料費	2,682	手数料	798
賃借料	315	雑費	43
保険料	35		
【特定財源】			
その他雑収益	26		
【目的】 本局庁舎の適切な維持管理により執務環境を確保する。			
【概要及び成果】 本局庁舎の施設及び設備の定期的な保守点検等を実施し、安全性を確保した。 令和2年度において新庁舎建設に伴う備品を購入したことから、令和3年度の事業費は減少した。			
＜主な費用＞			
光熱燃料費	庁舎電気料		1,448 千円
委託料	庁舎維持管理業務委託料		2,478 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
経理業務	992	999	7
経費内訳			
委託料	974	負担金及び補助	9
印刷製本費	16		
【目的】 地方公営企業法を始めとする関係法令に基づき適正な会計処理を行うことにより、事業経営の健全性を維持する。			
【概要及び成果】 上越市ガス水道事業会計規程に基づく経理処理を行うとともに、会計システムを適正に管理した。			
＜主な費用＞			
委託料	企業会計システム保守業務委託料		974 千円

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 職 員 研 修	86	181	95
経費内訳			
備用品費	12	負担金及び補助	161
旅費交通費	8		
【目的】			
外部研修、内部研修を通じて職員の知識及び技術力の向上を図る。			
【概要及び成果】			
職員の技術や知識の向上・継承のため、水道管接続を行う実地研修や災害時における給水支援活動向上研修などを実施した。また、職員に技術資格の取得を推奨するため、受験費用の一部助成を行った。			
＜主な費用＞			
旅費交通費	研修会旅費交通費		8 千円
負担金及び補助	研修会参加費等		161 千円
【課題及び今後の方向性】			
<p>職員の技術のより一層の向上を図るため、定期的に職員の間標とする技術力の到達度を確認するとともに、研修カリキュラムを検証し、効率的、効果的な研修を進めていく。</p>			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業費用	3,848,249	3,760,659	△ 87,590

経費内訳

報酬	1,353	保険料	1,553
給料	283,705	通信運搬費	64
手当	129,712	委託料	588
賞与引当金繰入額	35,265	手数料	90
法定福利費	88,345	印刷製本費	7
法定福利費引当金繰入額	6,176	負担金及び補助	3,384
厚生福利費	531	租税課金	67
退職給付費	43,757	需要開発費	427
備用品費	3,338	貸倒引当金繰入額	829
旅費交通費	155	雑費	366
修繕費	258	固定資産除却費	224,996
光熱燃料費	232	減価償却費	2,935,211
賃借料	250		

【概要及び成果】

法定耐用年数の経過に伴い、減価償却費が減少したことから、その他営業費用が減少した。

<主な費用>

職員給与費（営業費用及び用水供給営業費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
2年度	70人	287,427	171,331	48,335	96,246	603,339
3年度	71人	283,704	164,692	43,757	94,267	586,420
比較	1人	△ 3,723	△ 6,639	△ 4,578	△ 1,979	△ 16,919

※管理者給与費含む



単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業雑費用	7,146	7,367	221

経費内訳

給料	3,469	法定福利費	1,158
手当	2,197	法定福利費引当金繰入額	82
賞与引当金繰入額	455	厚生福利費	6

【概要及び成果】

需要家からの申込みのあった給水装置工事の設計審査及び竣工時の検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。

<主な費用>

職員給与費（営業雑費用に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
2年度	1人	3,385	2,494	0	1,259	7,138
3年度	1人	3,469	2,652	0	1,240	7,361
比較	0人	84	158	0	△ 19	223

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
支払利息	273,864	249,401	△ 24,463

経費内訳

企業債利息	249,401
-------	---------

【概要及び成果】

中長期的な経営収支見通しに基づき、内部留保資金を活用し企業債の新規発行額を抑制することにより、支払利息額が減少した。

<支払先>

財務省	129,076 千円	市内金融機関	65 千円
地方公共団体金融機構	120,260 千円		

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他営業外費用	2,401	4,546	2,145
経費内訳			
雑支出	4,546		
【概要及び成果】			
＜主な費用＞			
雑支出	福島第一・第二原発事故に伴う水質検査に係る費用	168 千円	
	消費税納税計算に伴う支出	2,563 千円	

## (2) 資本的収支

単位：千円

(資本的収入) 予算額	決算額	翌年度繰越 財源額	予算額と決 算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳				
				企業債	補助金	工事負担金	繰入金	固定資産売却収入
886,406	846,506	53,087	△ 39,900	0	0	△ 39,953	△ 1	54
(資本的支出) 予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	不用額の内訳				
				建設改良費	企業債償還金	用水供給資本的支出		
4,185,773	3,726,716	326,663	132,394	132,385	1	8		

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているため、上表の金額とは異なる

### ①資本的収入

◇新庁舎への移転に伴う旧ガス水道局庁舎売却による固定資産売却収入が減少したことから資本的収入全体で20.8%減少

単位：千円

項目	2年度決算	3年度決算	比較
企業債	200,000	200,000	0

#### ○借入先・借入条件

地方公共団体金融機構 償還方法 5年据置25年半年賦元金均等償還 利率 0.7%

単位：千円

項目	2年度決算	3年度決算	比較
補助金	229,046	171,787	△ 57,259

- 生活基盤施設耐震化等交付金（重要給水施設配水管） 149,420 千円
- 生活基盤施設耐震化等交付金（水道管路緊急改善事業） 22,367 千円

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
工 事 負 担 金	417,561	346,103	△ 71,458

○下水道工事等に伴う移設補償費及び消火栓設置工事等に伴う負担金

単位：千円

区 分	2年度	3年度	比 較
区画整理・団地	71,716	34,278	△ 37,438
一般他工事関連	36,870	56,852	19,982
下水道関連	173,145	111,895	△ 61,250
消火栓設置	51,516	61,320	9,804
支管・給水管関連	84,314	81,758	△ 2,556
合 計	417,561	346,103	△ 71,458

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
繰 入 金	112,901	116,722	3,821

○繰入金

116,722 千円

・統合水道一般会計繰入金

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
固 定 資 産 売 却 収 入	94,930	49	△ 94,881

○車両売却収入

49 千円

・軽貨物自動車1台  
・小型貨物自動車1台

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
用 水 供 給 資 本 的 収 入	2	0	△ 2

○車両売却収入の皆減

## ②資本的支出

◇基幹管路の更新を優先的に進め、基幹管路耐震適合率が38.4%に上昇

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 浄水施設更新事業	240,673	214,390	△ 26,283
経費内訳			
構築物	20,792	機械装置	193,598
<b>【目的】</b>			
老朽化した浄水施設の更新を行い、安全で安定した給水を図る。			
<b>【概要及び成果】</b>			
<p>アセットマネジメント（資産管理）で設定した計画耐用年数をもとに施設の更新を行うことにより更新費用の抑制を図った。</p> <p>城山浄水場大規模改修事業の実施に向け、事業者の募集・選定等に係る発注支援業務委託を実施したほか、渇水時などの水源である和田浄水場の計装設備更新工事を行った。</p>			
<b>&lt;主な費用&gt;</b>			
構築物	城山浄水場更新事業発注支援業務委託料	8,500 千円	
機械装置	和田浄水場計装設備更新工事	131,000 千円	
	正善寺浄水場No.2脱水機分解整備工事	53,600 千円	
<b>【課題及び今後の方向性】</b>			
<p>令和5年度を始期とする第3次中期経営計画策定に併せ、現行のアセットマネジメントを見直し、令和5年度から40年間の更新需要を把握し、老朽化した浄水施設の更新を計画的に実施していく。</p>			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 配水施設更新事業	33,279	139,850	106,571
経費内訳			
土地	616	構築物	89,723
建物	10,007	機械装置	39,504
【特定財源】 補助金	39,415		
【目的】 老朽化した配水施設の更新を行い、安全で安定した給水を図る。			
【概要及び成果】 アセットマネジメント（資産管理）で設定した計画耐用年数をもとに施設の更新を行った。 令和3年度は、基幹管路耐震化事業に伴い大湊区内に配水場を新設したことから事業費が増加した。			
＜主な費用＞			
土地	大湊配水場用地取得費（10.92㎡）	616 千円	
建物	大湊配水場建屋建設工事	8,602 千円	
構築物	吉川区第3・第4減圧弁入替工事	13,234 千円	
機械装置	大湊配水場機械電気計装工事	39,374 千円	

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎基幹管路耐震化事業	656,165	744,604	88,439

経費内訳

導管本支管	744,604		
【特定財源】			
補助金	129,747	企業債	200,000

【目的】

地震等による断・減水区域を縮小し災害復旧期間を短縮するため、給水区域を結ぶ基幹管路の耐震化を進め、災害に強い水道給水網を構築し、安全で安定した給水を図る。

【概要及び成果】

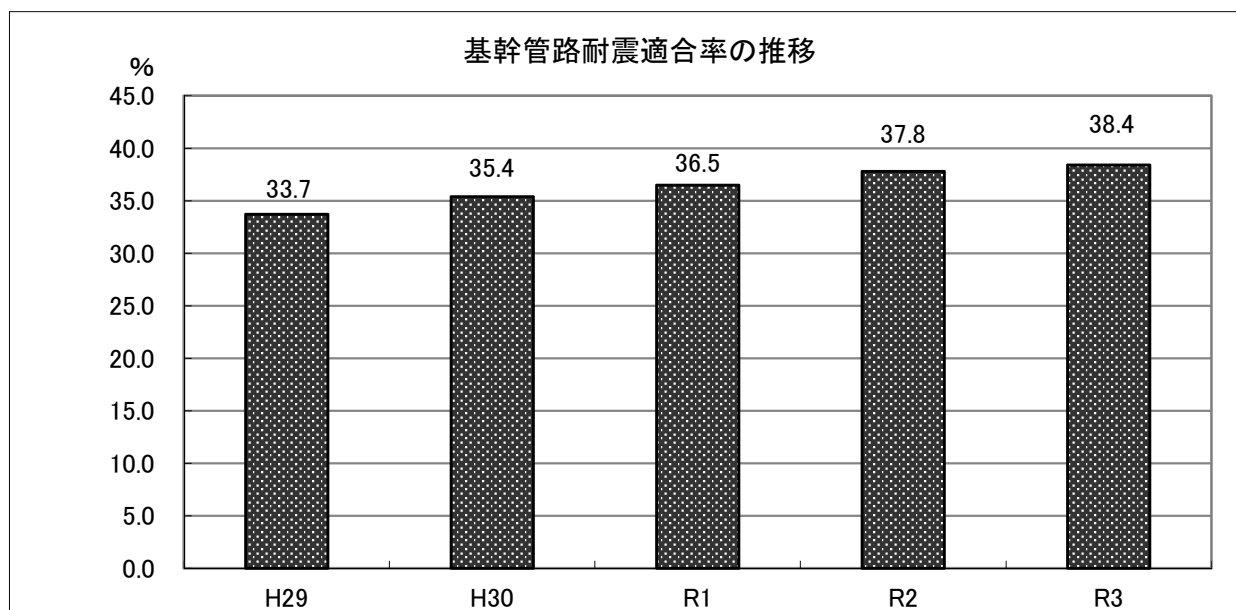
国の交付金事業を活用し、浄水場から病院や避難所への基幹管路を優先的に整備することにより、災害時のリスク軽減を図った。

令和元年度から進めてきた大潟区の基幹管路耐震化事業は、配水場の建設により完了した。

布設延長 L=2,716m

令和3年度末の基幹管路耐震適合率38.4%（計画値37.2%）

※基幹管路総延長519.2kmのうち199.6kmの耐震化が完了



【課題及び今後の方向性】

第2次中期経営計画に基づき、浄水場に近しい大口径管や病院・避難所への配水管などの基幹管路の耐震化により災害時のリスクを軽減する取組みを着実に進めた結果、計画最終年度である令和4年度の基幹管路耐震適合率は、計画値の39.0%を上回る見込みとなっている。

次期中期経営計画においても、引き続き基幹管路の耐震化を進めていく。

\*基幹管路耐震適合率は、レベル2地震動（震度6弱以上）での耐震性能を基準として算出。

基幹管路以外の配水支管の耐震適合率は、レベル1地震動（震度6弱以下）での耐震性能を基準としており、同様の基準で基幹管路を算出した場合の耐震適合率は90.7%となる。

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
◎ 経年管更新事業 (その他管路耐震化事業)	436,064	542,907	106,843
経費内訳			
導管本支管	542,907		
【特定財源】 工事負担金	44,190		
【目的】 老朽化した水道管の更新を行い、有収率を維持することで、安全で安定した給水を図る。			
【概要及び成果】 漏水事故歴のある管路や計画耐用年数を基準として埋設年度の古い管路を選定し更新を進めた。  布設延長 L=4,802m			
【課題及び今後の方向性】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">老朽化した水道管は、管網全体の健全性を維持するため計画的に更新していく必要があるが、これまでの漏水履歴や埋設管の状態から、埋設年度の古い管路においても一定の健全性が確認できていることから、アセットマネジメントの見直し時に更新基準年度を延伸する。</div>			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
設 計 業 務	20,465	18,021	△ 2,444
経費内訳			
導管本支管	18,021		
【目的】 水道本支管工事の設計を行い、設計図及び設計書を作成する。			
【概要及び成果】 CAD設計積算システムを使用して設計積算を行うとともに、設計業務の一部について委託により実施した。  <主な費用> 導管本支管 本支管工事設計業務委託料 14,339 千円			

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
その他建設改良費	2,408,753	1,841,853	△ 566,900

経費内訳

土地	350	導管本支管	405,394
車両運搬具	2,541	導管給水管	266,820
工具器具備品	16,238	ソフトウェア	3,190
水道メーター	3,046	企業債償還金	1,144,274

【特定財源】

補助金	2,625	繰入金	116,722
工事負担金	301,913		

【概要及び成果】

<主な費用>

職員給与費（設計監督業務に係る職員分）

単位：千円

	職員数	給料	手当	退職給付費	法定福利費	合計
2年度	12人	46,078	29,785	0	15,538	91,401
3年度	12人	46,294	29,471	0	15,547	91,312
比較	0人	216	△ 314	0	9	△ 89

土地	広域管路埋設用地取得（東中島地内）	350 千円
車両運搬具	車両2台入替	2,541 千円
工具器具備品	事務用パソコン更新	2,594 千円
	ファイルサーバ更新	2,000 千円
導管本支管	下水道関連工事など導管本支管工事費 布設延長 L=4,623m	317,784 千円
企業債償還金	財務省	618,881 千円
	地方公共団体金融機構	506,277 千円
	市内金融機関	19,116 千円



#### 4 第2次水道事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
経年管更新率	%	87.0	81.4	△ 5.6	↓	計画耐用年数を迎える管の更新を計画していたが、管体及び継手の健全性等が確認されたことから次期アセットマネジメントでは計画耐用年数を延伸する予定。令和3年度からこれらの現状を踏まえて更新対象管を抽出していることから、計画値を下回った。
基幹管路耐震適合率	%	37.2	38.4	1.2	↑	断・減水リスクが大きい浄水場に近い大口径管路から順次更新を進めたほか、病院や避難所等への基幹管路の更新を着実に進めたことから、計画値を上回った。
有収率	%	91.9	94.3	2.4	↑	配水ブロックごとの有収率管理を行い、漏水の早期発見・修繕を実施したことから、計画値よりも高い有収率を維持した。
水源保全投資額	円/m <sup>3</sup>	0.12	0.08	△ 0.04	↓	支出額は水源保護地域啓発看板設置及びパンフレット作製、植林地下草刈りであり、発注額減少（入札）によるもの。看板設置箇所数は4か所予定どおり実施した。
職員資格取得度	件/人	1.89	2.30	0.41	↑	職員へ資格取得を奨励するとともに、ガス水道技術の向上に寄与する技術資格取得に係る助成措置を継続して実施したことから、計画値を上回った。
水質に対する苦情割合	件/1,000件	1.00以下	0.17	△ 0.83	↑	老朽化した配水管の更新の進捗により、水質も改善されていることなどから苦情件数が減少した。

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
鉛製給水管残存率	%	1.5	1.5	0.0	→	—
損益勘定所属職員 1人当たり有収水量	千m <sup>3</sup> /人	314.3	316.2	1.9	↑	職員数は計画どおりであり、有収水量は計画よりも増加したことから、計画値を上回った。
経常収支比率	%	122.6	124.6	2.0	↑	経常収益は計画より増加し、管路更新に伴い修繕費などの支出も減少したことから、計画値を上回った。
給水収益に対する 企業債利息割合	%	5.3	5.2	△ 0.1	↑	給水収益は計画よりも下回ったものの、企業債の新規借入を抑制し、利息も減少したことから、計画値を上回った。
給水収益に対する 企業債残高割合	%	276.3	273.4	△ 2.9	↑	給水収益は計画よりも下回ったものの、企業債の新規借入を抑制し、元金も減少したことから、計画値を上回った。
収納率	%	99.5	99.6	0.1	↑	口座振替を推進するなど現年度分料金の確実な納付を促すほか、分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施したことから、計画値を上回った。
配水量1m <sup>3</sup> 当たり 二酸化炭素排出量	g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	148.8	137.9	△ 10.9	↑	老朽化した施設・設備の更新を実施したことから、計画値を上回った。

※計画対比： ↑ 計画を上回っている      ↓ 計画を下回っている

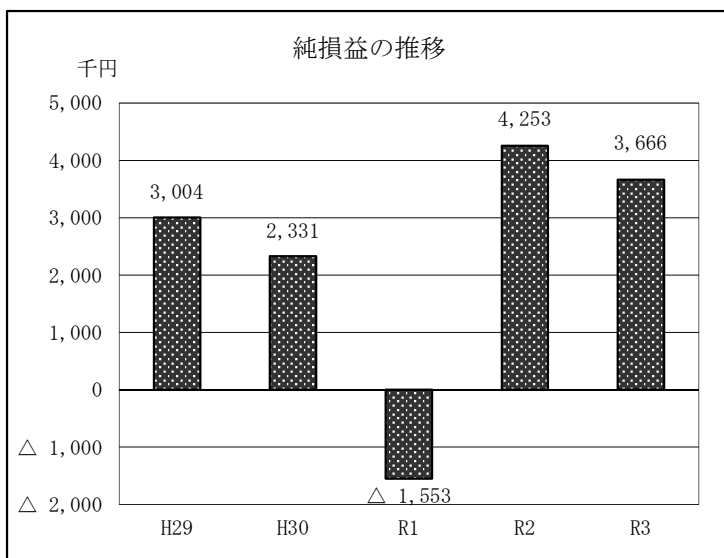
所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第83号
提出課	経営企画課

## 令和3年度上越市工業用水道事業会計決算の概要

- 収益的収支では、収入は責任水量制を採用していることから料金収入は安定しており、前年度比3万円（0.2%）増の1,555万円となった。費用については修繕費が増加したことから前年度比62万円（5.5%）増の1,188万円となり、当年度純損益は前年度に比べ58万円減の366万円の純利益を計上した。
- 資本的支出では、万が一に備え、原水井戸ポンプ更新工事の予算を計上したが、安定供給が保たれたことから更新は行わなかった。

### 1 業務の概要

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比	
						増減数	増減率
1 給事業所数 箇所	1	1	1	1	1	0	0.0%
2 施設能力 m <sup>3</sup> /日	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0	0.0%
3 年間配水量 m <sup>3</sup>	542,507	539,731	538,255	544,367	542,131	△ 2,236	△ 0.4%
4 年有収水量 m <sup>3</sup>	542,507	539,731	538,255	544,367	542,131	△ 2,236	△ 0.4%
5 一日平均配水量 m <sup>3</sup>	1,486	1,479	1,471	1,491	1,491	0	0.0%
6 一日平均有収水量 m <sup>3</sup>	1,486	1,479	1,471	1,491	1,491	0	0.0%
7 有収率 %	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0	0.0%
8 職員数 人	1	1	1	1	1	0	0.0%



## 2 決算の概要 ※消費税及び地方消費税抜きの金額

### (1) 収益的収支

単位：千円

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
収 入	営業収益	15,510	15,510	15,552	15,438	15,463	25	0.2%
	給水収益	15,510	15,510	15,552	15,438	15,463	25	0.2%
	営業雑収益	0	0	11	0	0	0	0.0%
	営業外収益	438	460	3,833	83	91	8	9.6%
	受取利息	5	5	5	1	1	0	0.0%
	長期前受金戻入	217	217	3,828	78	78	0	0.0%
	その他営業外収益	216	238	0	4	12	8	200.0%
	収入計	15,948	15,970	19,396	15,521	15,554	33	0.2%
支 出	営業費用	12,944	13,639	20,949	11,268	11,888	620	5.5%
	職員給与費 (うち退職給付費)	6,986 (0)	7,674 (364)	5,208 (559)	5,708 (186)	6,214 (442)	506 (256)	8.9% (137.6%)
	修繕費	554	95	190	25	370	345	著増
	動力費	2,391	2,923	2,947	2,625	2,874	249	9.5%
	減価償却費	2,655	2,588	2,358	2,191	2,114	△ 77	△ 3.5%
	その他営業費用	358	359	10,246	719	316	△ 403	△ 56.1%
	支出計	12,944	13,639	20,949	11,268	11,888	620	5.5%
収支差引(純損益)	3,004	2,331	△ 1,553	4,253	3,666	△ 587	△ 13.8%	

(2) 資本的収支

単位：千円

区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年度対比		
						増減数	増減率	
支 出	建設改良費	2,166	0	0	1,605	0	△ 1,605	皆減
	機械装置	577	0	0	1,064	0	△ 1,064	皆減
	水道メーター	0	0	0	541	0	△ 541	皆減
	ソフトウェア	1,589	0	0	0	0	0	0.0%
支 出 計	2,166	0	0	1,605	0	△ 1,605	皆減	
差 引 不 足 額	2,166	0	0	1,605	0	△ 1,605	皆減	
	(2,166)	(0)	(0)	(1,605)	(0)	(△ 1,605)	(皆減)	
補 填 財 源	過年度分損益勘定留保資金	2,166	0	0	1,605	0	△ 1,605	皆減
	計	2,166	0	0	1,605	0	△ 1,605	皆減

※括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の不足額

令和3年度決算の状況

【税抜：万円未満省略】

収益的収支

収入：1,555万円

支出：1,189万円

水道料金収入 1,546万円
長期前受金戻入 8万円
その他の収入 1万円

人件費 621万円
修繕費 37万円
動力費 287万円
委託料等 32万円
減価償却費 211万円
収支差引額（利益） 366万円

項目	留保資金等
①過年度分 損益勘定留保資金	1,998万円
②当年度分 損益勘定留保資金※	204万円
③積立金等	8,155万円
計	10,357万円

※ 減価償却費等から長期前受金戻入分の金額を除いた額

### 3 決算主要項目の内容

#### (1) 収益的収支

単位：千円

(収益的収入) 予 算 額	決 算 額	予算額と決算額の増減	予算額と決算額の増減の内訳		
			営業収益	営業雑収益	営業外収益
17,379	17,101	△ 278	△ 52	0	△ 226
(収益的支出) 予 算 額	決 算 額	不 用 額	不用額の内訳		
			営業費用	営業外費用	
16,193	13,435	2,758	2,757	1	

#### (2) 資本的収支

単位：千円

(資本的支出) 予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	不用額の内訳
				建設改良費
836	0	0	836	836

※以下、消費税及び地方消費税抜きの金額となっているので、上表の金額とは異なる

#### ①収益的収入

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
給 水 収 益	15,438	15,463	25

#### ○工業用水道口径別使用量・料金実績

##### 1) 事業所数

単位：社；件

口 径	2年度		3年度		増 減		増 減 率	
	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数	年度末社数	年間延件数
150mm	1	12	1	12	0	0	0.0%	0.0%

##### 2) 使用量

単位：m<sup>3</sup>

口 径	使 用 量		増 減	増 減 率	1 か月 1 社当たり使用量		
	2年度	3年度			2年度	3年度	増減率
150mm	544,367	542,131	△ 2,236	△0.4%	45,364	45,178	△0.4%

##### 3) 料金

単位：円

口 径	料 金		増 減	増 減 率	1 か月 1 社当たり使用料		
	2年度	3年度			2年度	3年度	増減率
150mm	15,437,677	15,463,157	25,480	0.2%	1,286,473	1,288,596	0.2%

単位：千円

項 目	2年度決算	3年度決算	比 較
営 業 外 収 益	83	91	8

単位：千円

		2年度	3年度	比 較
受取利息	預金利息	1	1	0
長期前受金戻入	長期前受贈財産評価額戻入	78	78	0
雑収益	損害共済金還付金等	4	12	8
合 計		83	91	8

②収益的支出及び資本的支出

単位：千円

事業名	2年度決算	3年度決算	比較
工業用水道事業	12,873	11,888	△ 985
経費内訳			
給料	2,994	光熱燃料費	33
手当	1,408	保険料	2
賞与引当金繰入額	376	通信運搬費	63
法定福利費	923	委託料	112
法定福利費引当金繰入額	71	手数料	77
厚生福利費	8	負担金及び補助	6
退職給付費	442	減価償却費	2,114
備用品費	15		
修繕費	370		
動力費	2,874		
【特定財源】			
給水収益	11,888		
【目的】			
工業用水道施設の維持管理及び定期的な点検整備により、安定した給水を確保する。			
【概要及び成果】			
大瀨区内1社に対し、地下水を汲み上げ工業用水道として供給した。			
<主な費用>			
職員給与費（営業費用に係る職員分）			単位：千円
	職員数	給料	手当
			退職給付費
			法定福利費
			合計
2年度	1人	2,810	1,773
3年度	1人	2,994	1,784
比較	0人	184	11
			256
			55
			506
動力費	使用量	159,569kwh（前年度比 1,536kwh減）	
		2,874 千円	